

RADIO CONTROLLED ELECTRIC POWERED RACING BUGGY OFF-ROAD RACER **TURBO SCORPION**

- ★ NEW SPECIALLY DESIGNED FRONT TREAD PATTERN
- ★ NEW SUPER LIGHT WHEELS FOR TOP HANDLING IN THE ROUGH
- ★ SPECIAL NEW FRONT SUSPENSION GEOMETRY FOR SUPER DIRECTIONAL STABILITY
- ★ NEW OVERSIZE BALL JOINTS IN FRONT SUSPENSION FOR INCREASED STRENGTH
- ★ NEW OVERSIZE 10mm OIL-FILLED SHOCK ABSORBERS FOR EVEN BETTER ROADHOLDING
- ★ WATERPROOF/DUSTPROOF RADIO AND BATTERY BOX
- ★ NEW SPEED CONTROLLER GIVES THREE FORWARD SPEEDS PLUS REVERSE
- ★ NEW SPORTY BODY STYLE: OPEN ENGINE/CONTOURED BODY
- ★ NEW SPIKE REAR TIRES FOR BETTER TRACTION
- ★ RUGGED DIECAST ALUMINUM SUSPENSION PARTS
- ★ NEW HEATSINK-COOLED SPEED CONTROLLER RESISTOR
- ★ DECORATIVE AND FUNCTIONAL WING
- ★ POWERFUL HIGH-TORQUE TYPE 360E MOTOR (INCLUDED)

オフロードレーサー **ターボスココーピオン**

1:10 SCALE

BATTERY: 7.2V-1200mAh

RADIO: 2ch.

(NOT INCLUDED)

PAT. P.



- ★ ル・マン360Eモーター付
- ★ オイルダンパー4基標準装備
- ★ デフギヤ標準装備

組立て説明書

KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

KIT No.3091

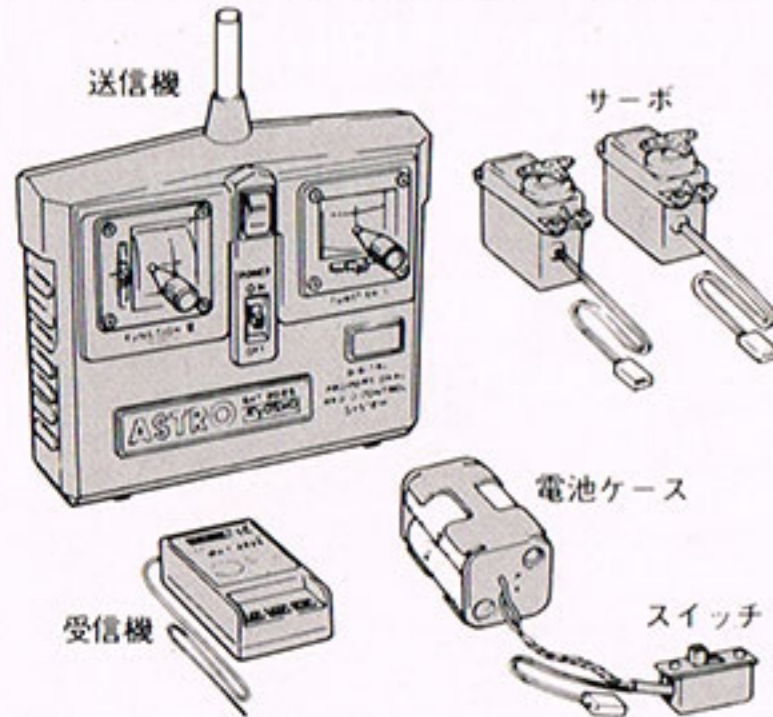
■ バッテリー: 7.2V-1200mAh / プロポ: 2チャンネル (別売)

電動ラジオコントロール
レーシング バギー

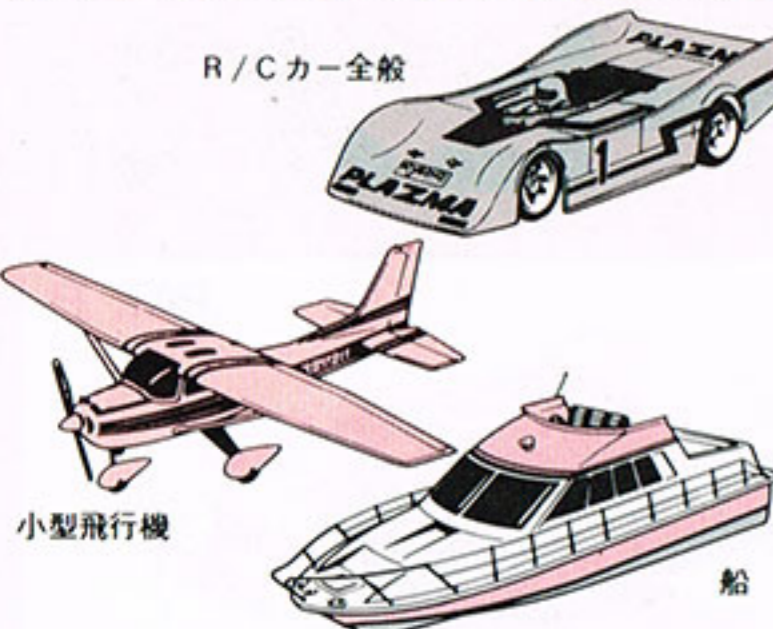
OFF-ROAD RACER TURBO SCORPION

ラジオコントロールプロポとは

このラジオコントロールモデルには2チャンネル・2サーボ・デジタルプロポ方式のラジオコントロール(R/C)メカを使用します。



2チャンネルプロポは1セット購入しておけばいろいろなR/Cモデルを操縦できます。(2チャンネルプロポでR/C操縦できるもの)



ニカドバッテリーとは

正式にはニッケルカドニウム電池といい充電して繰り返し使用できる電池なので乾電池よりはるかに経済的で電圧も一定しているので、R/Cモデルの動力用電源に最も適したバッテリーです。

京商では6N-1200バッテリーとか7.2Vレーシングバッテリーというように明記し販売しております。

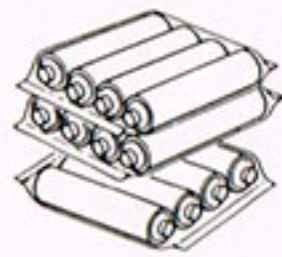
6N-1200バッテリーとは、1.2V1200ミリアンペアの電池を6本直列にパックしたバッテリーです。

※ニカドバッテリーはR/Cカー、船などいろいろなR/Cモデルに使用できます。

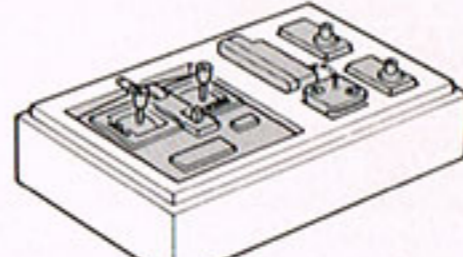
キット以外にお求めいただくもの

<2チャンネルプロポ>

プロポの送信機にはスティックタイプとハンドルタイプがあります。自分に合ったものをお求め下さい。



プロポ用電池



2チャンネルプロポ

<走行用ニカドバッテリー>

このR/Cカーには京商7.2Vレーシングバッテリーが使えます。



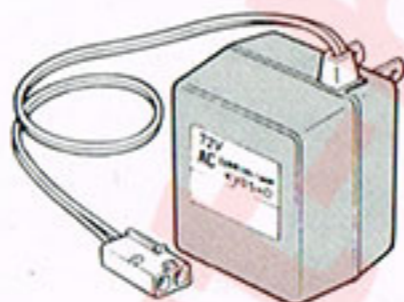
7.2Vレーシングバッテリー

<ニカドバッテリーの充電器>

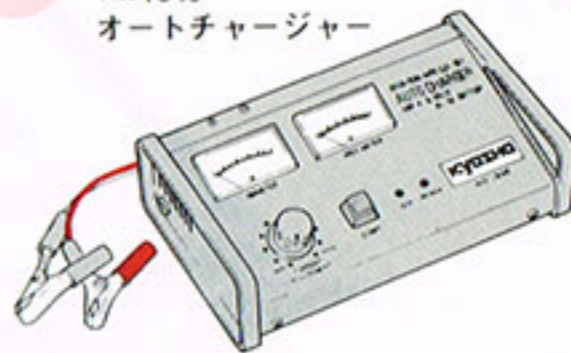
京商ニカドバッテリーは高性能で正しく充電すれば長期間、使用ができます。充電方法は家庭用100Vコンセントから行なう15時間充電器と自動車のシガーライター又は12Vバッテリーから行なう急速充電器(約15分)があります。使用目的に合った充電器を下の表より選んでお求め下さい。

品番	充電器名	充電時間	充電%	特長	価格
No.2221	スーパーニカド充電器(AC100V)	14~16時間	100%	初心者向	¥ 1,700
No.2207	スーパーニカド急速充電器(DC12V)	15分	約70%	初心者向 タイマー式	¥ 4,800
No.1846	マルチチャージャー(DC12V)	20分	100%	タイマー式 電流計付	¥ 6,800
No.1848	オートチャージャー(DC12V)	約20分	100%	デルタピーク検知式 電流計、電圧計付	¥ 12,800

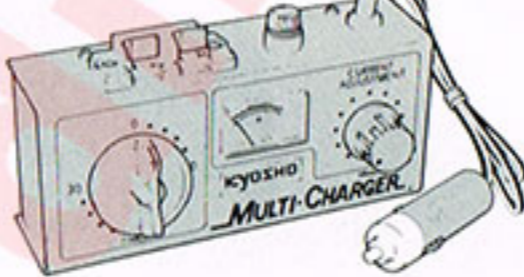
No.2221
スーパーニカド充電器



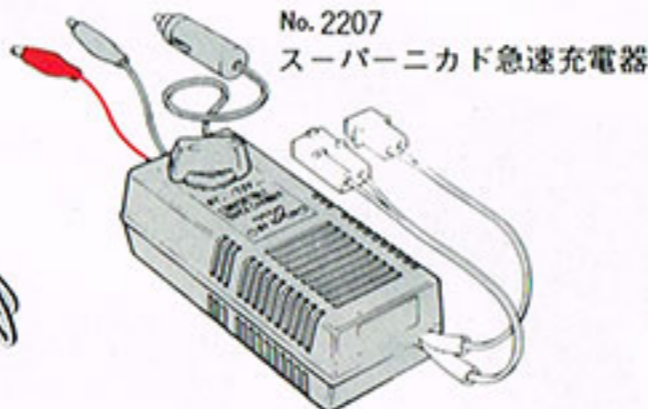
No.1848
オートチャージャー



No.1846
マルチチャージャー



No.2207
スーパーニカド急速充電器



組み立てに必要な工具と接着剤など

<キットに入っている工具>

1.5mm六角レンチ

2mm六角レンチ

ネジロック剤

走行中の振動などによりビス、ナットなどがゆるんだり脱落を防ぐのに使います。

<用意する工具等>

⊕ドライバー(大、小)

5.5mm及び7mmボックスドライバー

ハサミ

ラジオペンチ

キリ

カッターナイフ

<用意する接着剤>

瞬間接着剤

ゴム系接着剤

<塗装に必要なもの>

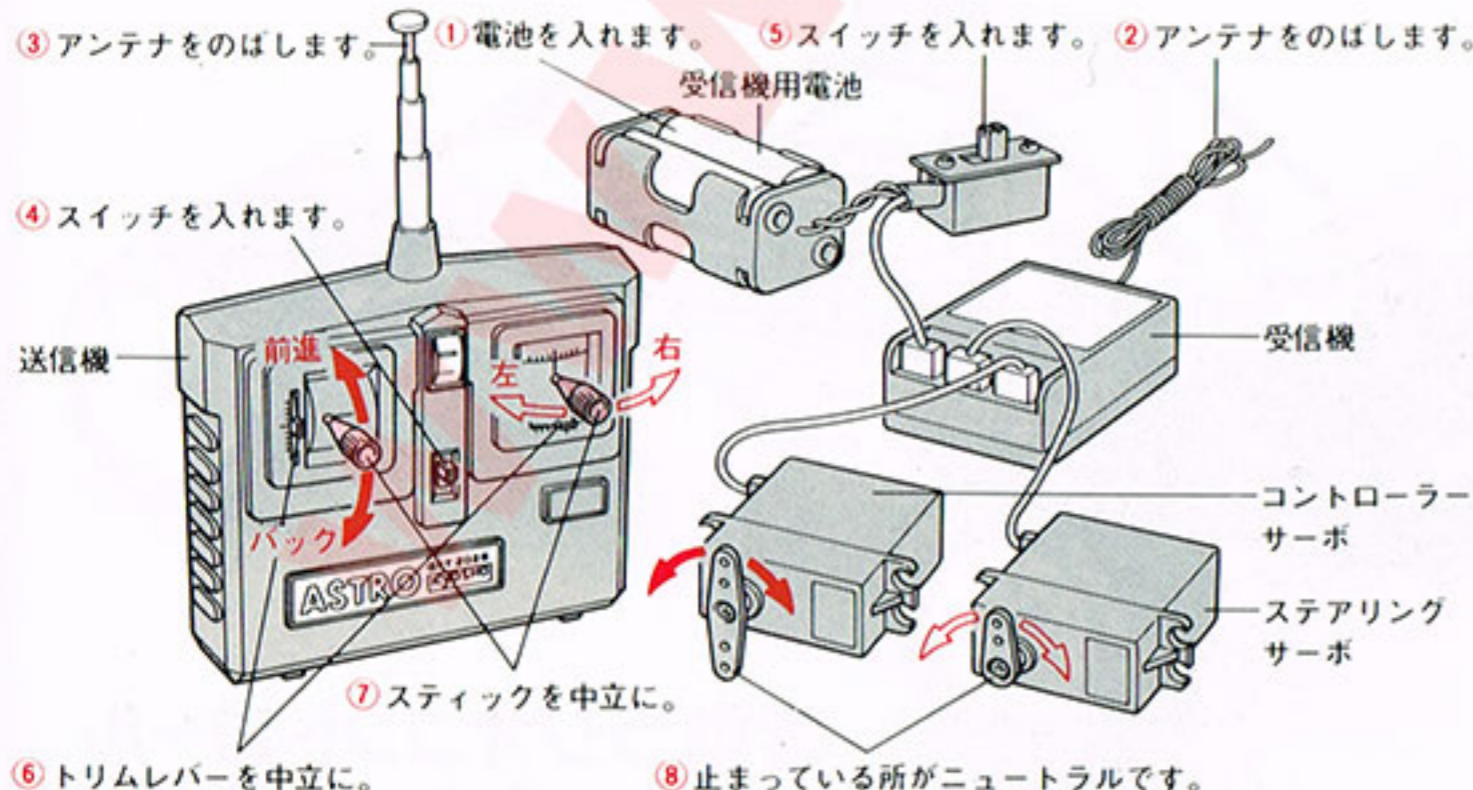
京商ポリカカラー及びスプレー塗料

マスキング用京商ミクロンライントープ

ハケ

※塗装については取扱書の塗装の項にくわしく出ています。

プロポのチェック 番号順にラジオコントロールメカを動作してみます。



※プロポのスイッチを入れるときは送信機を入れてから受信機のスイッチを入れます。切るときは逆に受信機、送信機の順に切るようくせをつけましょう。

2チャンネルプロポは、送信機、受信機、サーボ、電池ボックスなどから成り立っています。

- 送信機………操縦するコントロールボックスでスティックの動きを電波でアンテナから発信します。
- 受信機………送信機からの電波を受けサーボに送ります。
- サーボ………受信機が受けた電波をモーター、ギヤを使い車のコントロール部を動かす装置です。
- アンテナ………送信機のアンテナは電波を送り出し、受信機のアンテナは電波が入る重要なものなのでいっばいにのばし使います。
- トリムレバー………送信機のトリムレバーはサーボの中立(ニュートラル)をずらし、車の右、左のステアリング及びコントローラーの前進、バックの位置を微調整するレバーです。
- レベルメーター………送信機の電池の減り及び電波の発振状態を確認するメーターです。
- サーボホーン………サーボと車のコントロール部をつなぐもので何種類もあり、使用目的にあった形状を使用します。

《組立てのまえに》

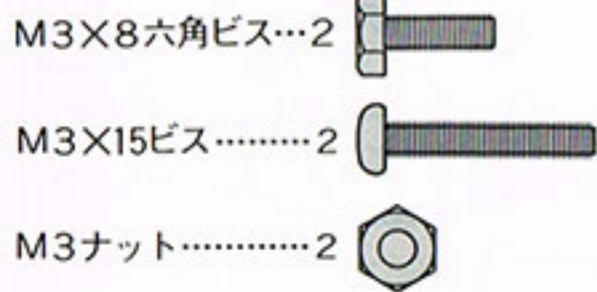
組立てるまえに説明書を終りまで良く読んで、あらかたの構造を頭に入れてから組立てるとスムーズに作業が進行します。

お買い求めの際、又は組立ての前に部品キットの内容をよくお確かめになって下さい。なお、組立てを始められた商品の返品、交換などには応じかねます。又、万一組立て中に不足、不良部品があった時は愛用者カードに販売店の印をもらい、京商サービス部までパーツ名を明記の上、ご連絡下さい。

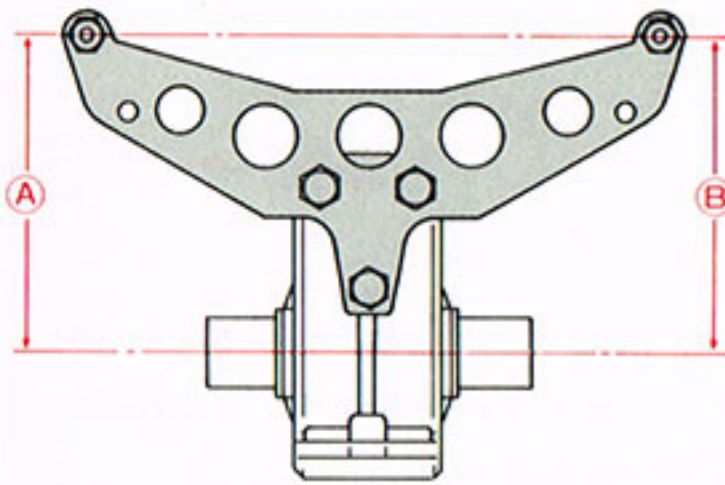
- ビス、ナット、ワッシャー等は図中の原寸図に合わせてご使用下さい。
- SW-LOCK** はキット内のネジロック剤をつける所です。

1 モーターカバーのとりつけ

《使用する小物パーツ》

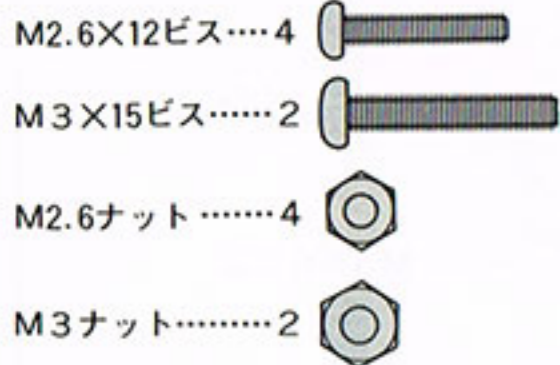


①と②が平行になるように取付けて下さい。



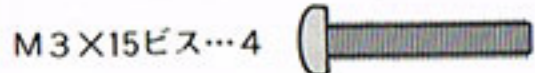
2 フロントダンパステーのとりつけ

《使用する小物パーツ》

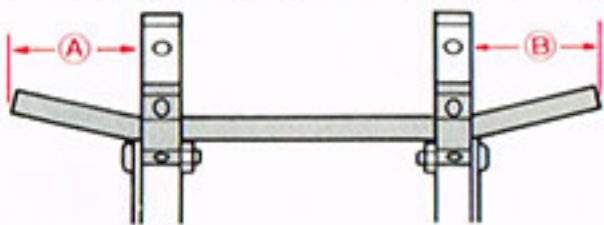


3 アーム軸のとりつけ

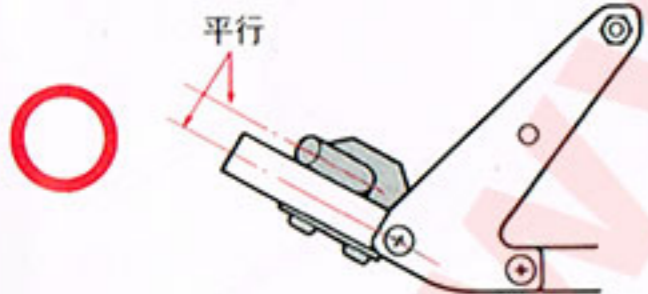
《使用する小物パーツ》



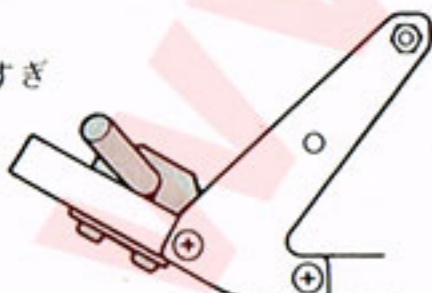
①と②の長さを同じにセットして下さい。



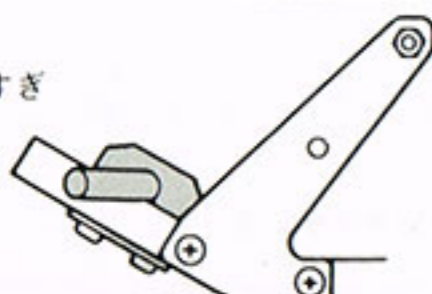
まよこから見てアーム軸とシャーシが平行になるようセットして下さい。



アーム軸が上りすぎ

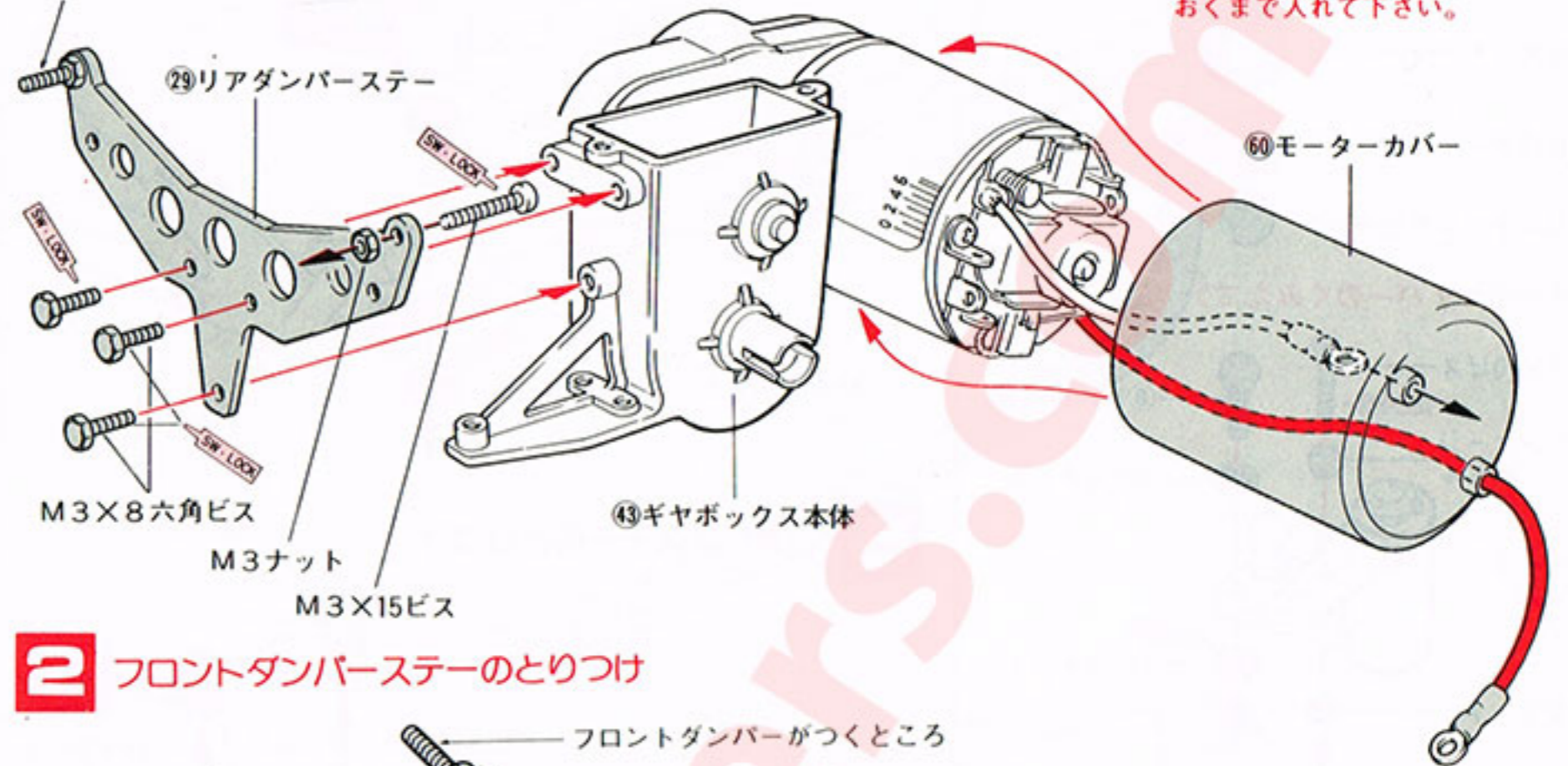


アーム軸が下りすぎ

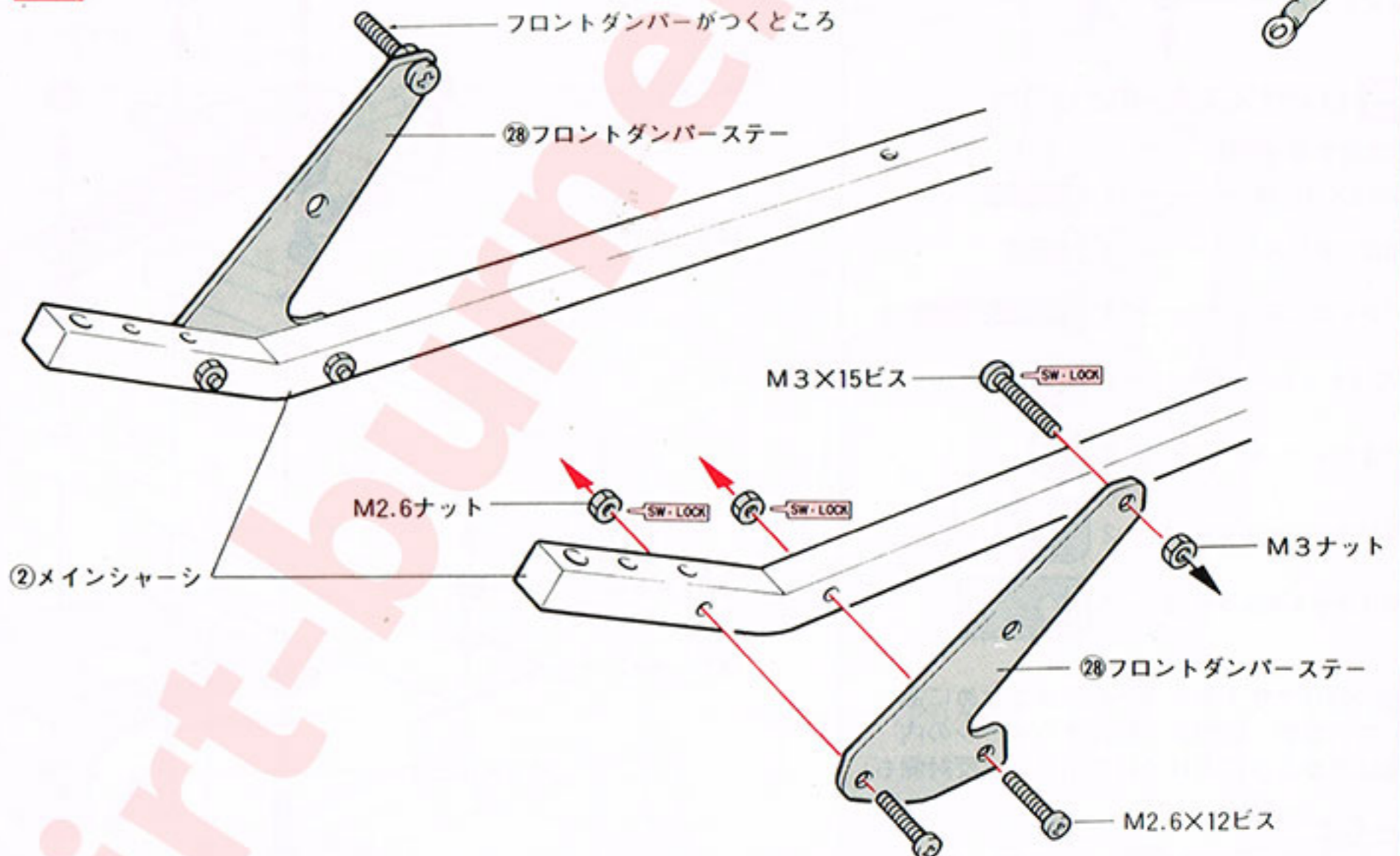


1 モーターカバーのとりつけ

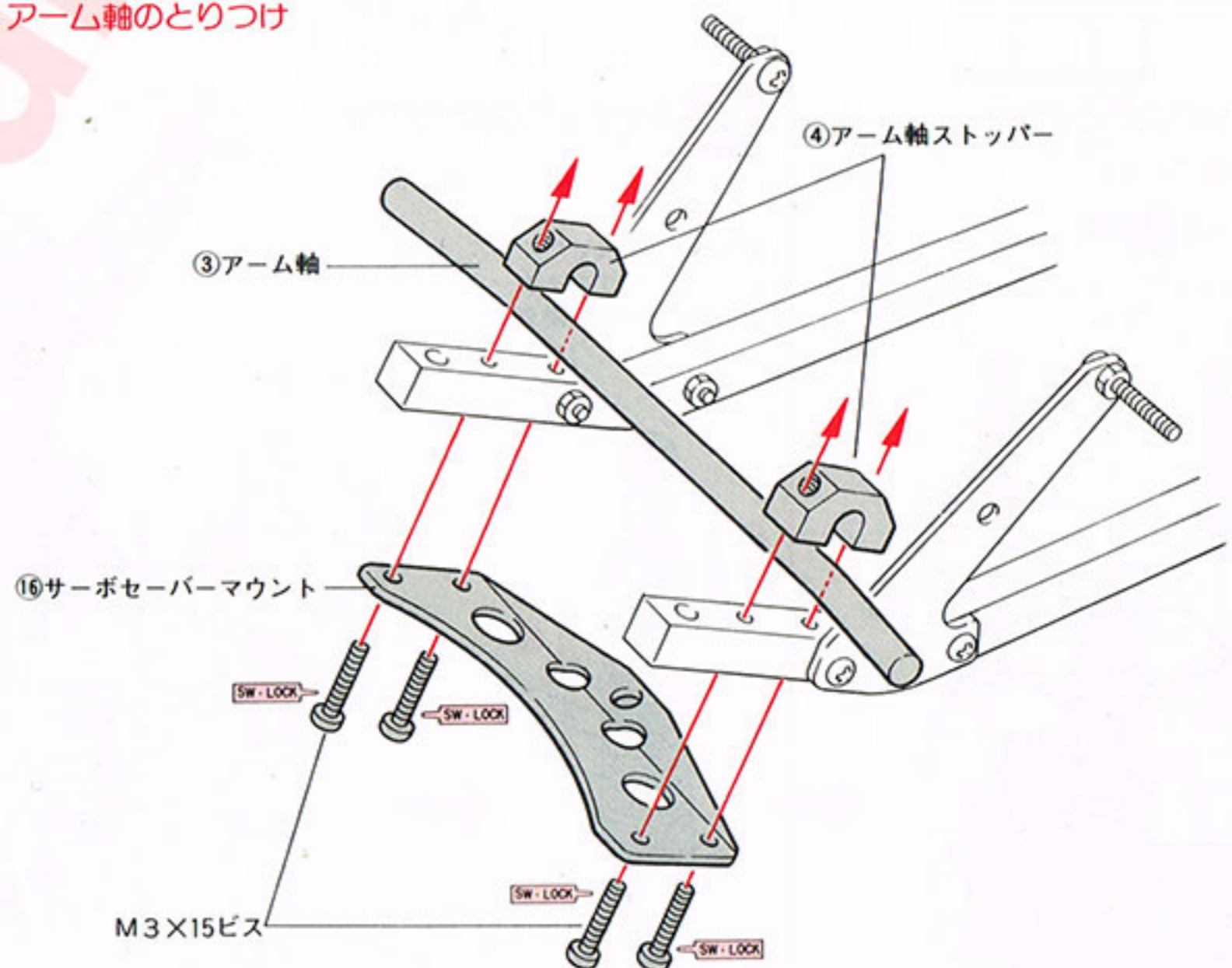
リアダンパーがつくところ



2 フロントダンパステーのとりつけ

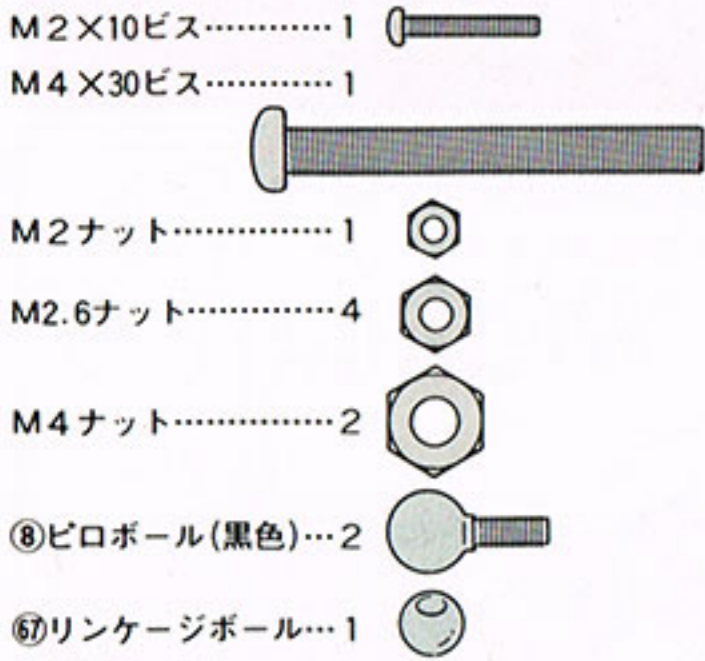


3 アーム軸のとりつけ

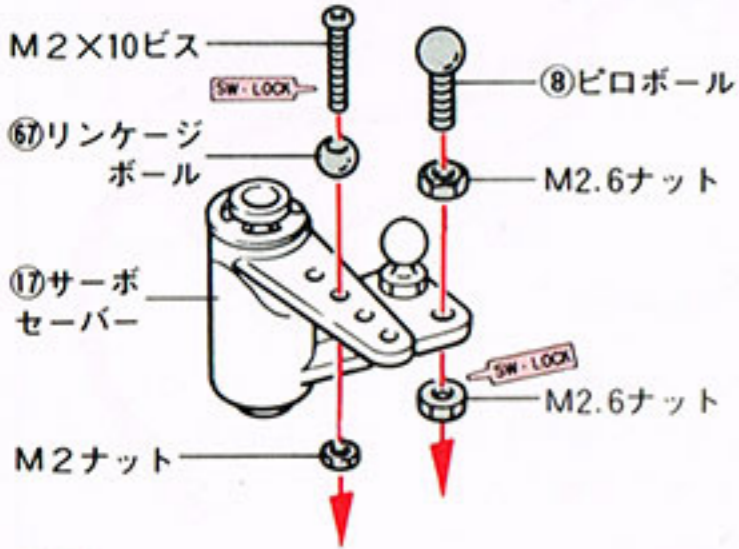


4 サーボセイバーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

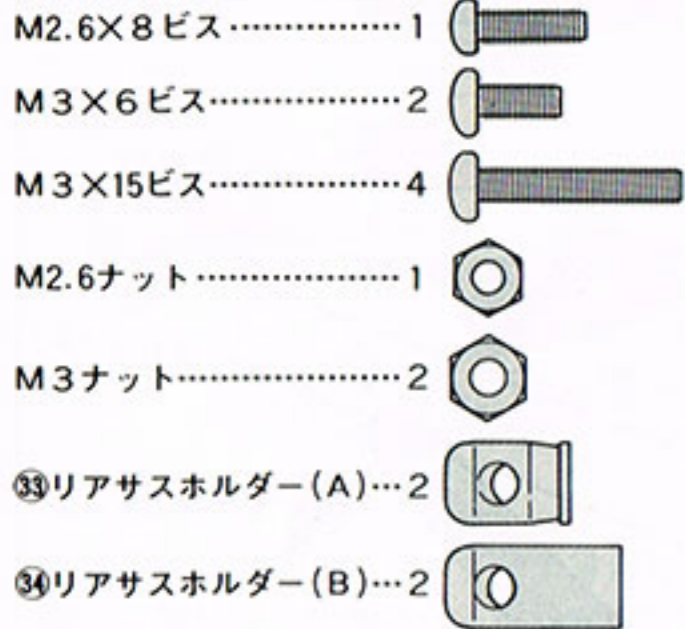


〈サーボセイバーのくみだて〉

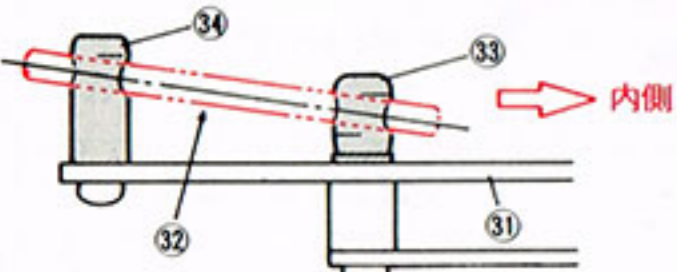


5 リアサステーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

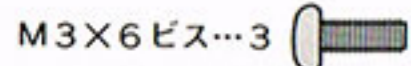


③④のリアサスホルダーの穴はななめにあいています。図のように穴がシャーシの内側に下るようにとりつけて下さい。(反対側も)

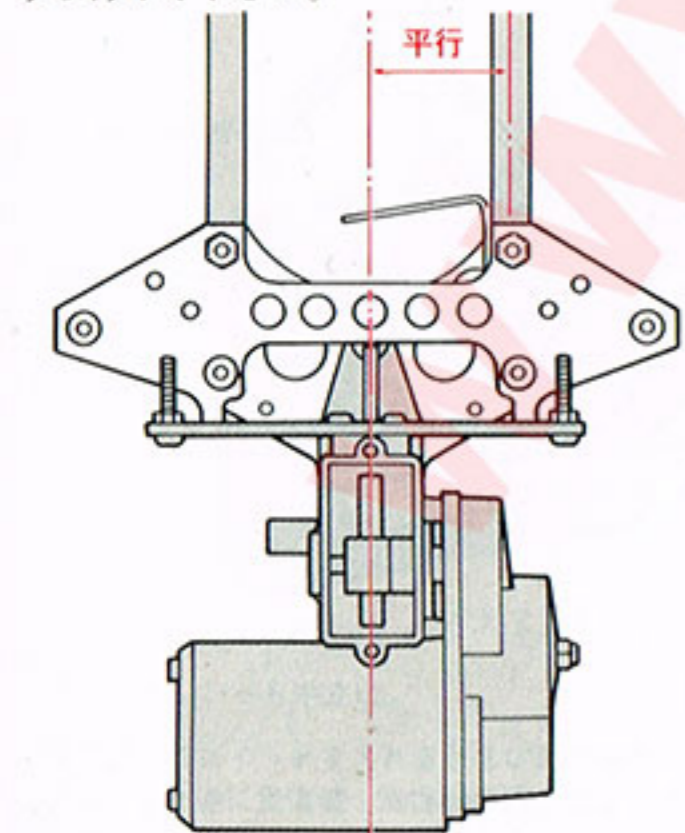


6 ギヤボックスのとりつけ

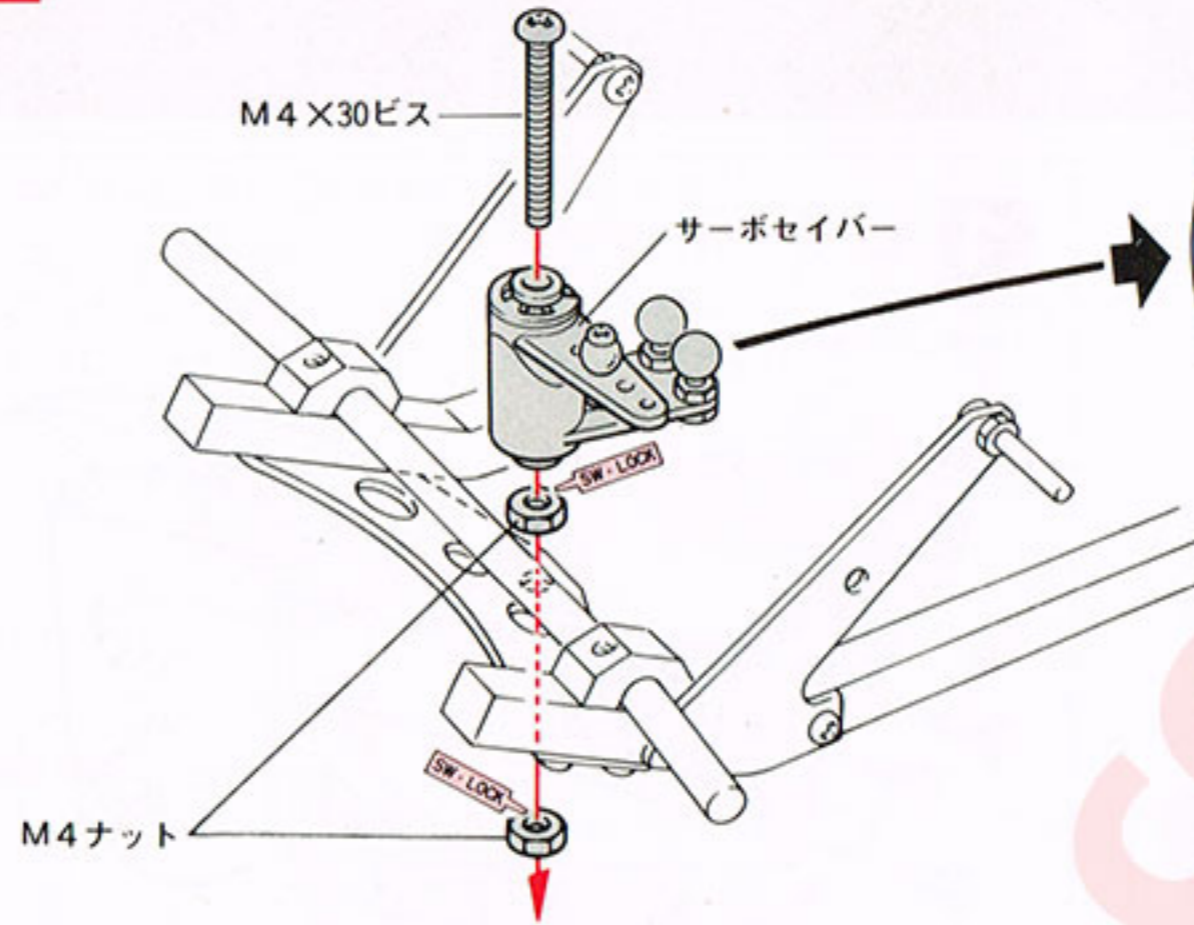
〈使用する小物パーツ〉



ギヤボックスとシャーシが平行になるよう取付けて下さい。



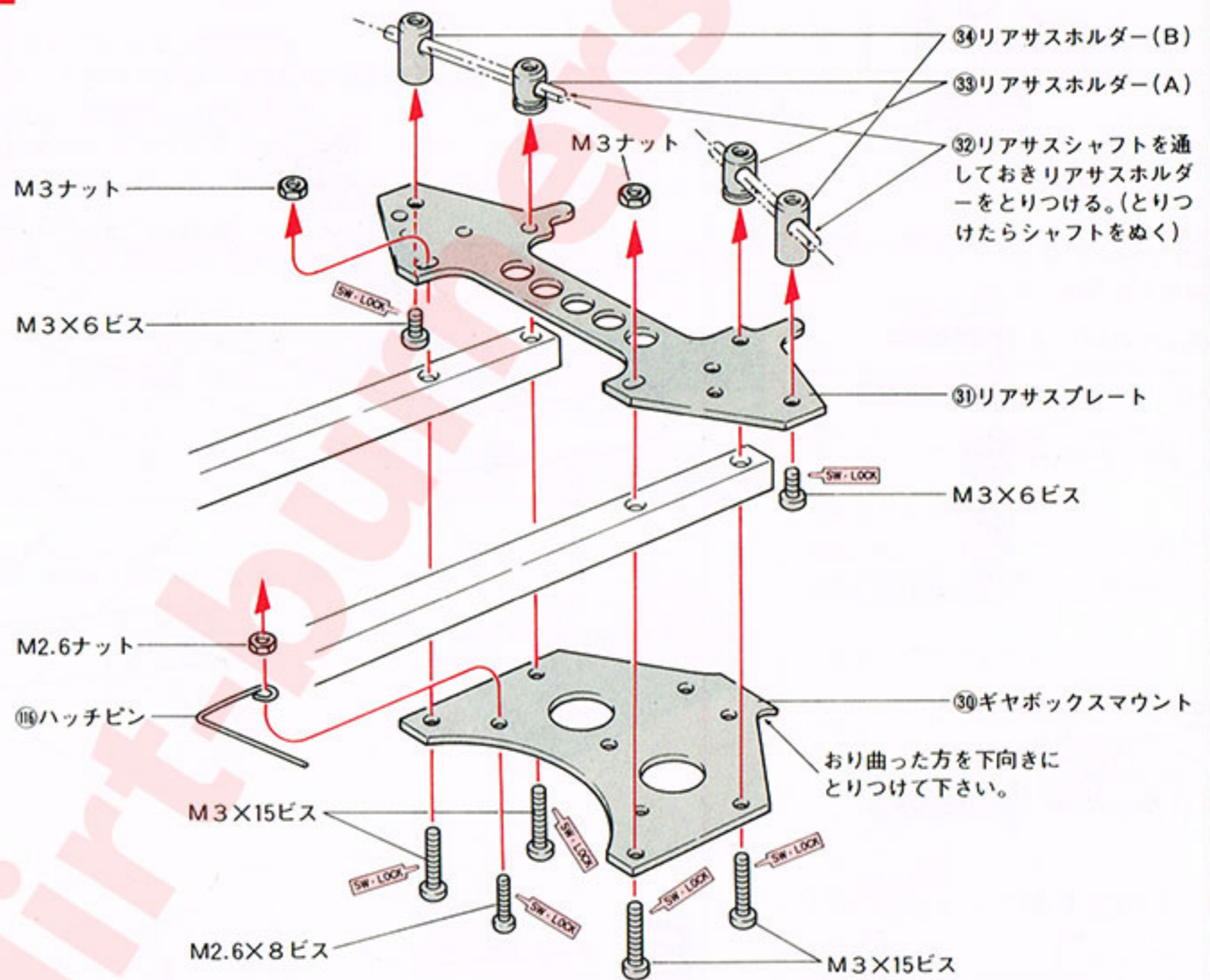
4 サーボセイバーのとりつけ



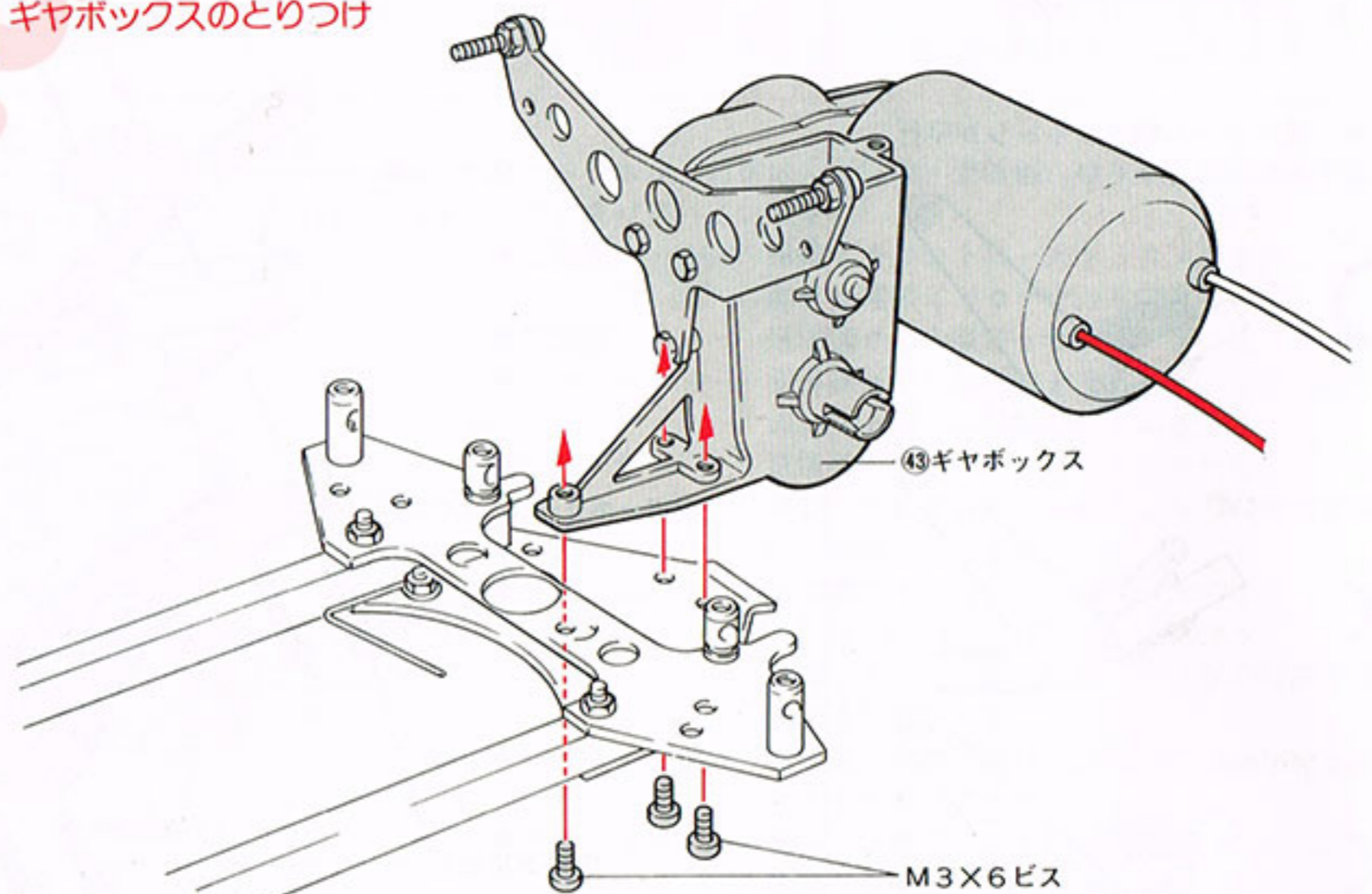
0.5ミリぐらいのすきまをあけ、サーボセイバーが左右に軽く動くようにする。



5 リアサステーのとりつけ

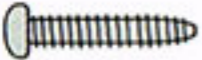


6 ギヤボックスのとりつけ




7 リアガードのくみだて

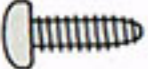
〈使用する小物パーツ〉

M2.6×12タッピングビス…2 

8 リアガードのとりつけ

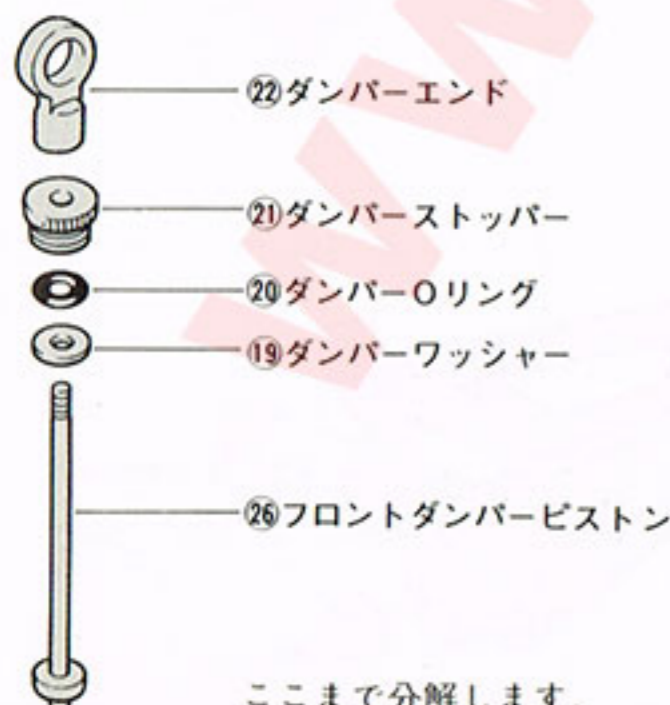
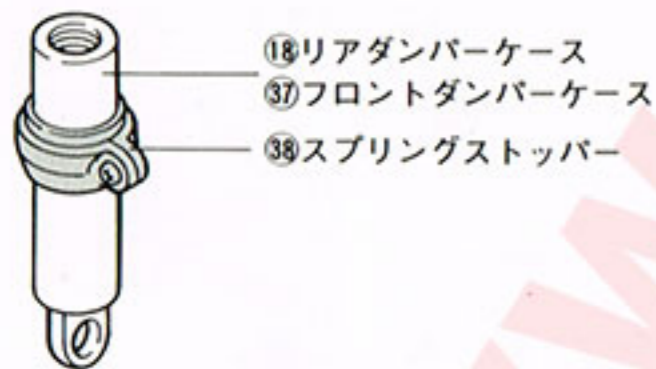
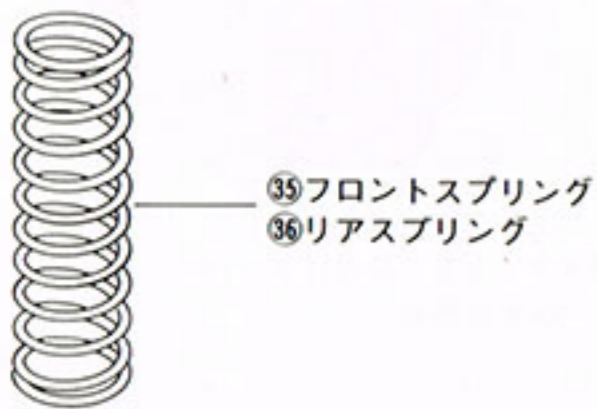
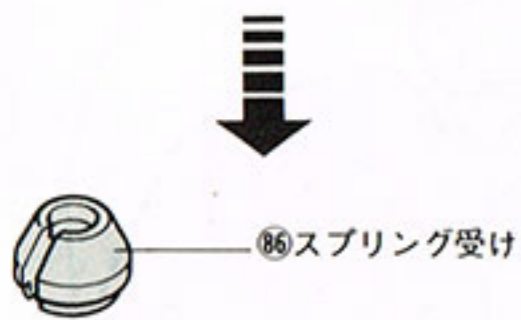
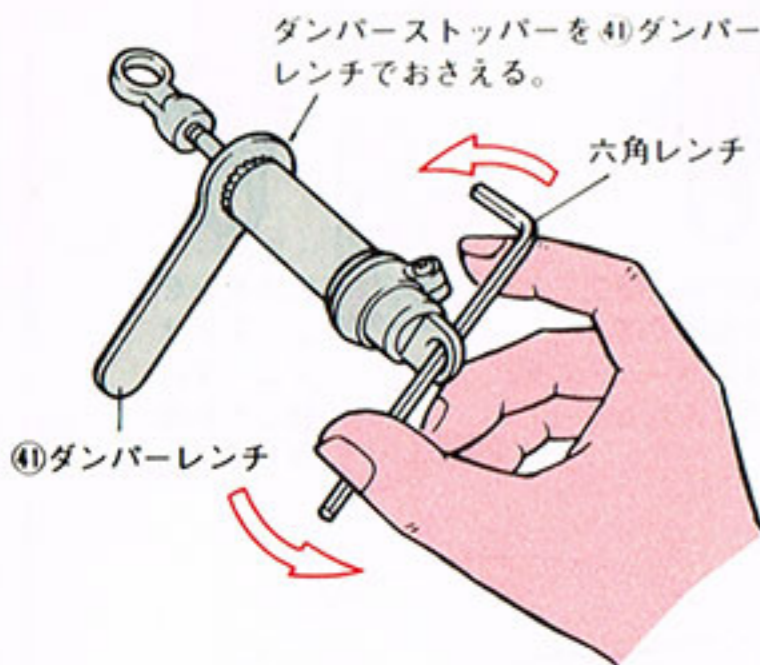
〈使用する小物パーツ〉

M2.6×12タッピングビス…2 

M3×8タッピングビス…2 

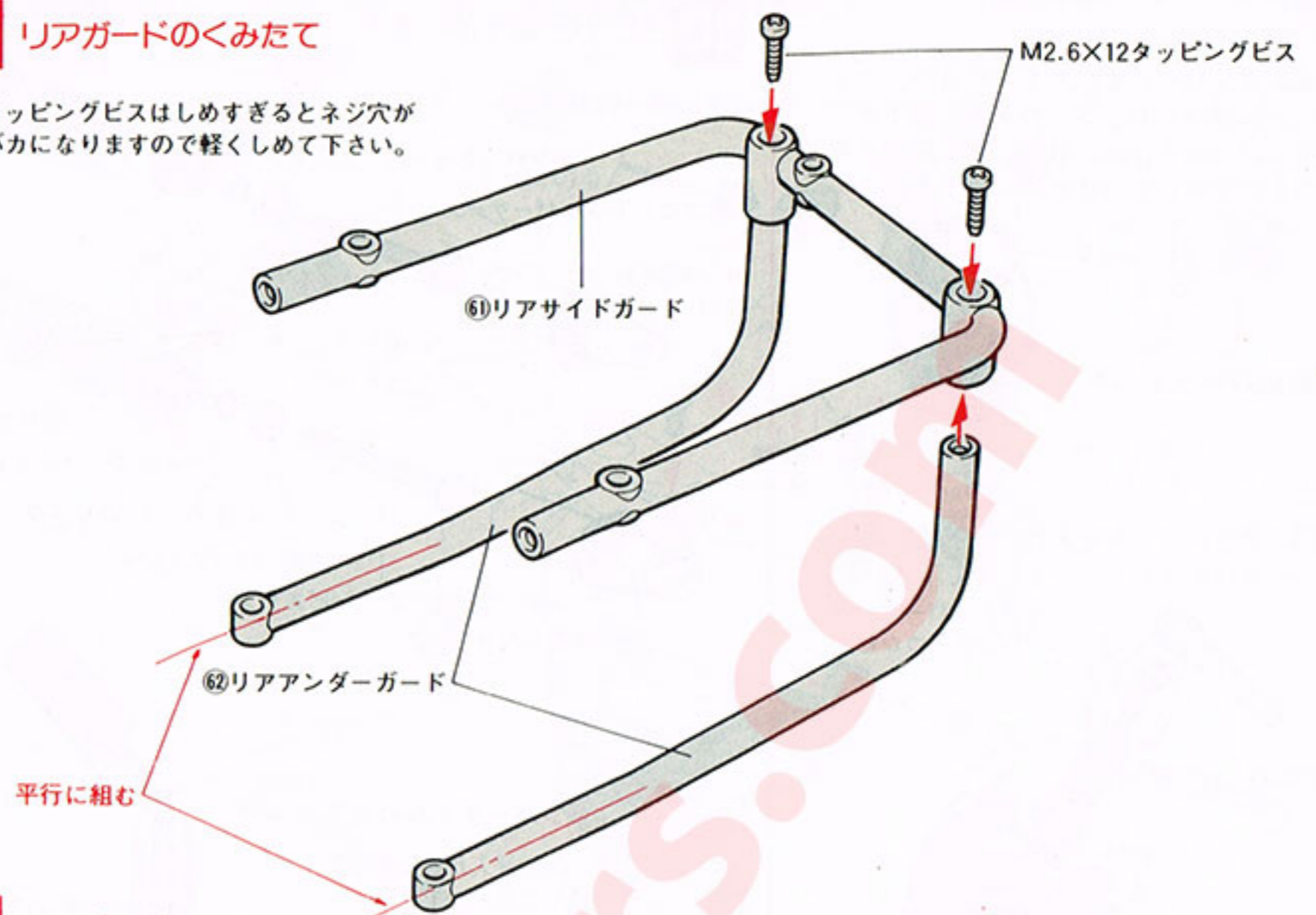
9 ダンパーの分解

右図のようにスプリングをはずしたら下図のように分解して下さい。



7 リアガードのくみだて

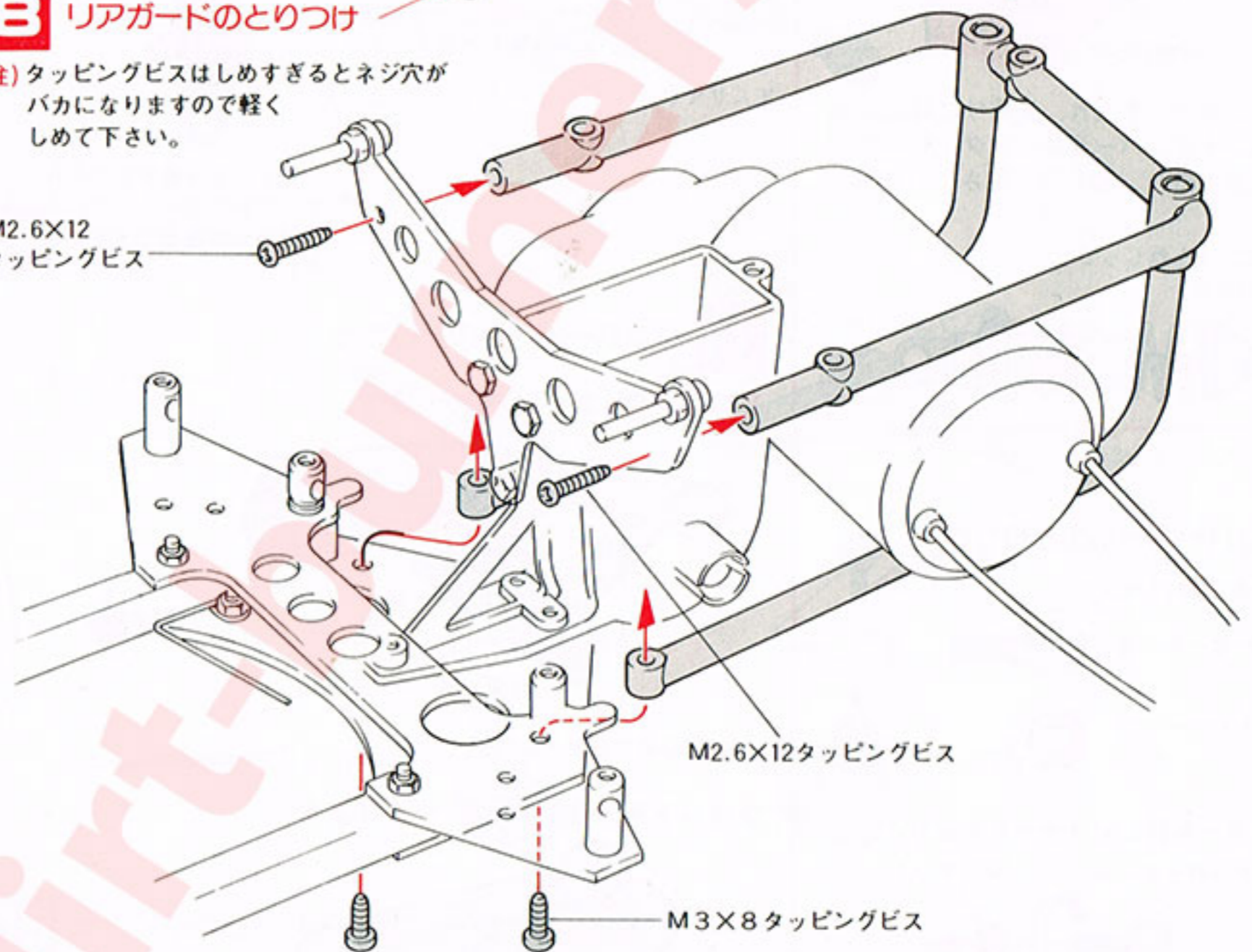
(注) タッピングビスはしめすぎるとネジ穴がバカになりますので軽くしめて下さい。



8 リアガードのとりつけ

(注) タッピングビスはしめすぎるとネジ穴がバカになりますので軽くしめて下さい。

M2.6×12
タッピングビス



9 ダンパーの分解

※ダンパーは組立済みとなっていますがオイルを入れるため分解して下さい。フロント用とリア用ではパーツが異なるものがありますので1本ずつ分解し、オイルを入れ組み込んで下さい。

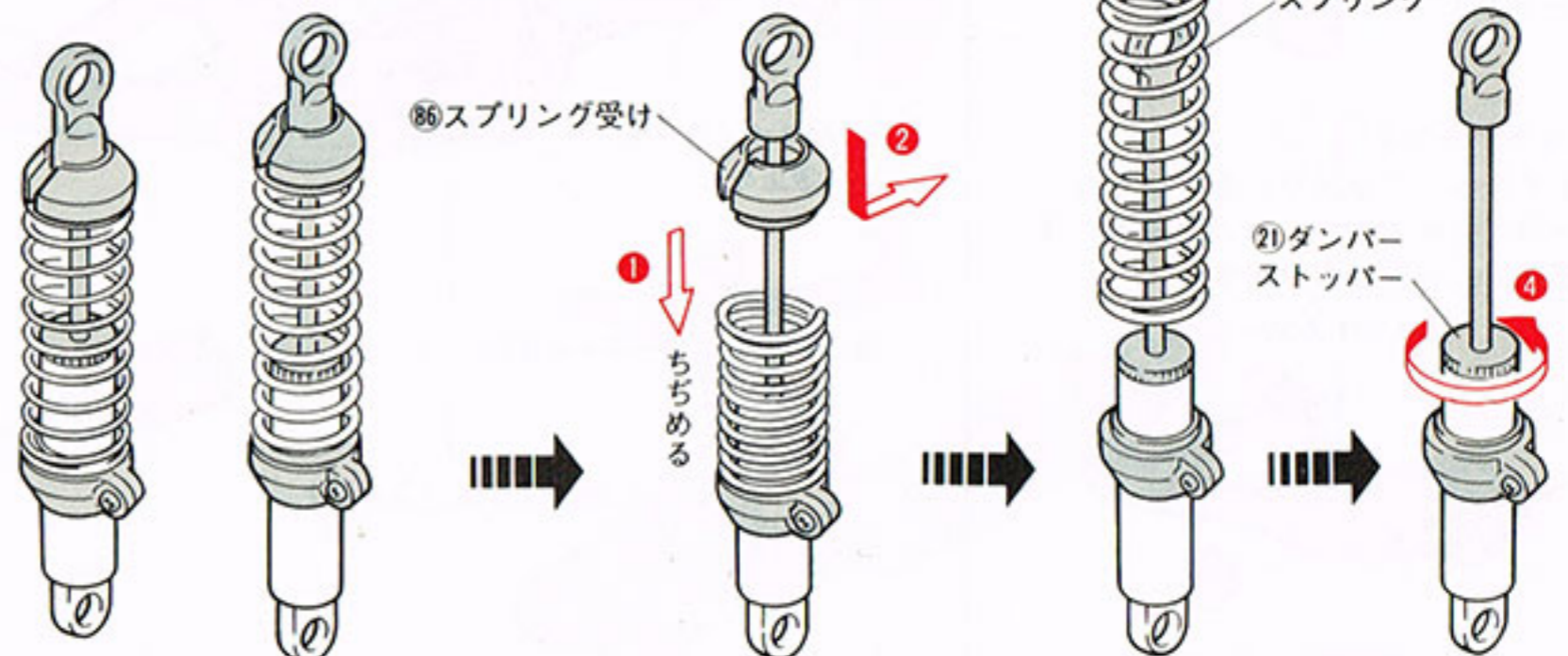
スプリングを矢印の方へちぢめてスプリング受けを横にずらしてはして下さい。

スプリングを上に取り出す。

ダンパーストッパーを回し、はずして下さい。

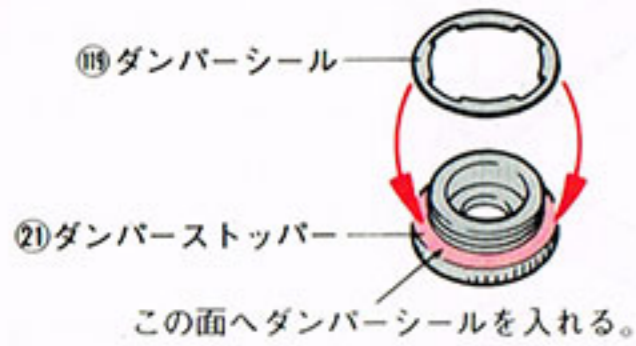
フロント用2本

リア用2本

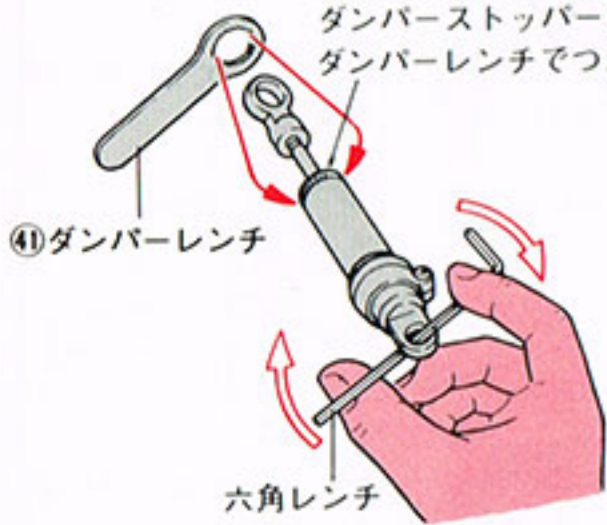


10 ダンパーオイルの注入

オイルダンパーにオイルを入れる時、ストッパーに⑩ダンパーシールを入れて下さい。
 ●ダンパーシールは、針のような先のとがったもので少しずつはめ込んで下さい。

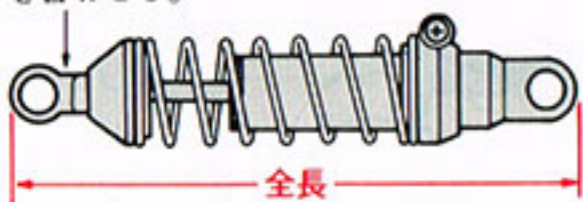


右図のようにオイルを入れたら下図のようにしっかりと止りをとめて下さい。
 ダンパー止りを、ダンパーレンチでつかむ。



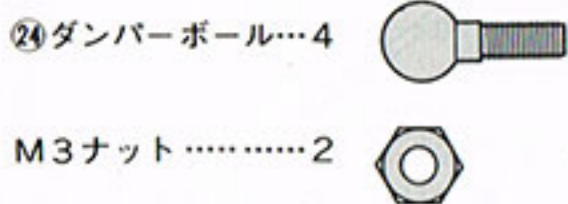
ダンパーにオイルを入れ、元通りに組込んだらフロントダンパー及びリアダンパーの右左の全長を計り、右左同じ長さにして下さい。

ダンパーエンドをねじって長さを合わせる。

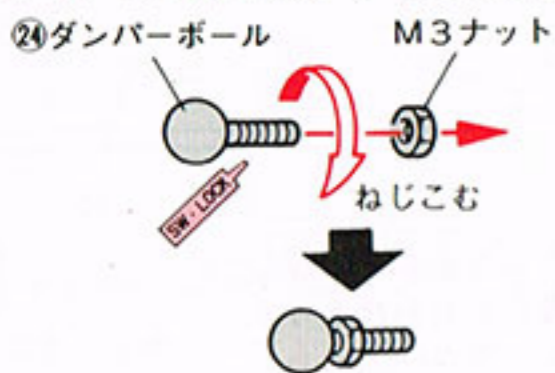


11 ダンパーボールのとりつけ

＜使用する小物パーツ＞

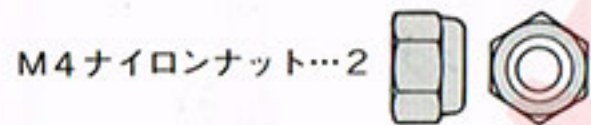


ダンパーボール②④にM3ナットをねじこむ。



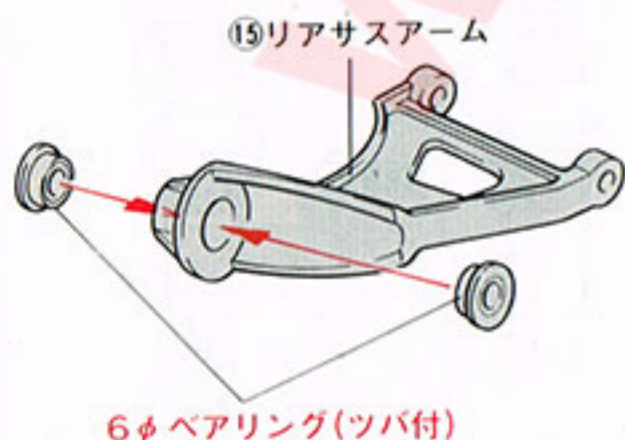
12 リアホイールシャフトのとりつけ

＜使用する小物パーツ＞



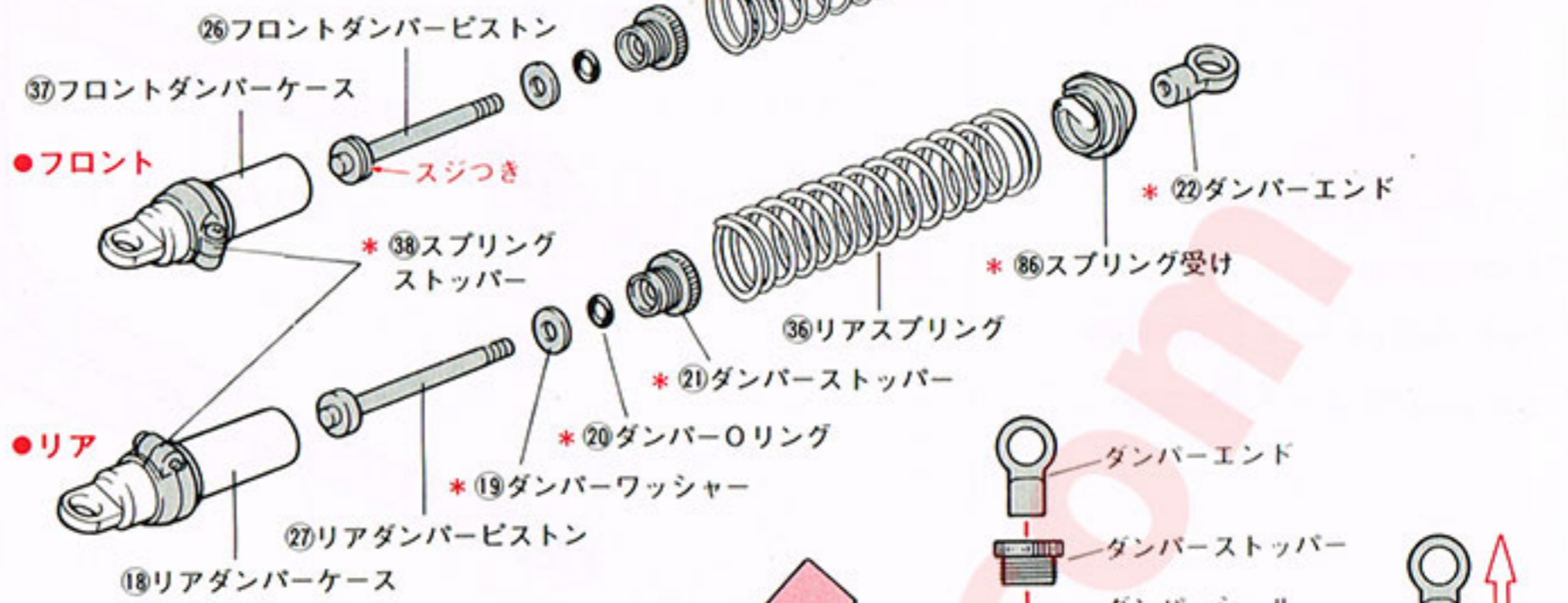
＜オプションパーツ＞

⑩⑩リアホイールシャフトメタルをオプションのMS-26 6φベアリングと交換すればより回転がスムーズになります。



10 ダンパーオイルの注入

＜ダンパーの分解図＞



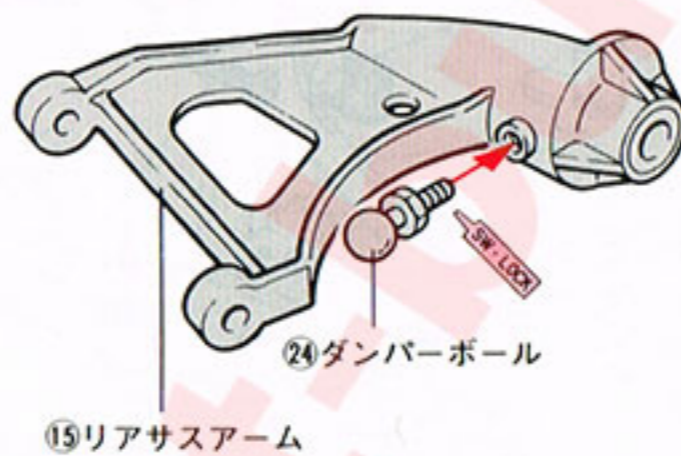
＜ダンパーオイルの注入＞

オイルの注入が終了したら元通りに組んで下さい。
 (注)フロントとリアを間違えないよう注意して組むこと。

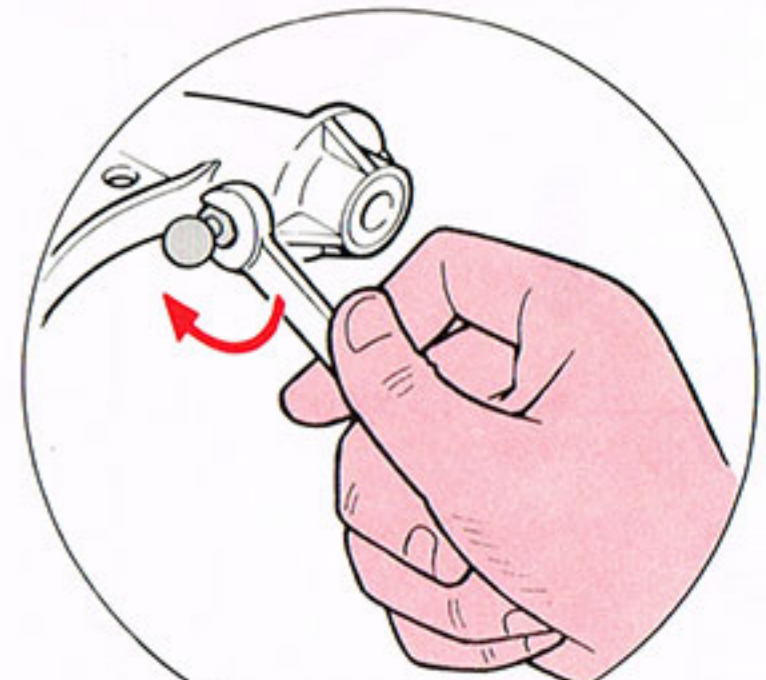
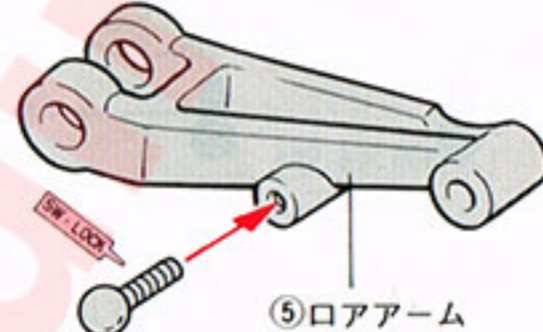
1. ピストンを一番下まで入れ、中に空気の泡が入らないように図の位置までオイルを入れる。
2. 図の順に組立てれば完了です。
 ※ダンパーシールを必ず入れること。
3. ピストンを上・下させスムーズに動くかを確認して下さい。

11 ダンパーボールのとりつけ

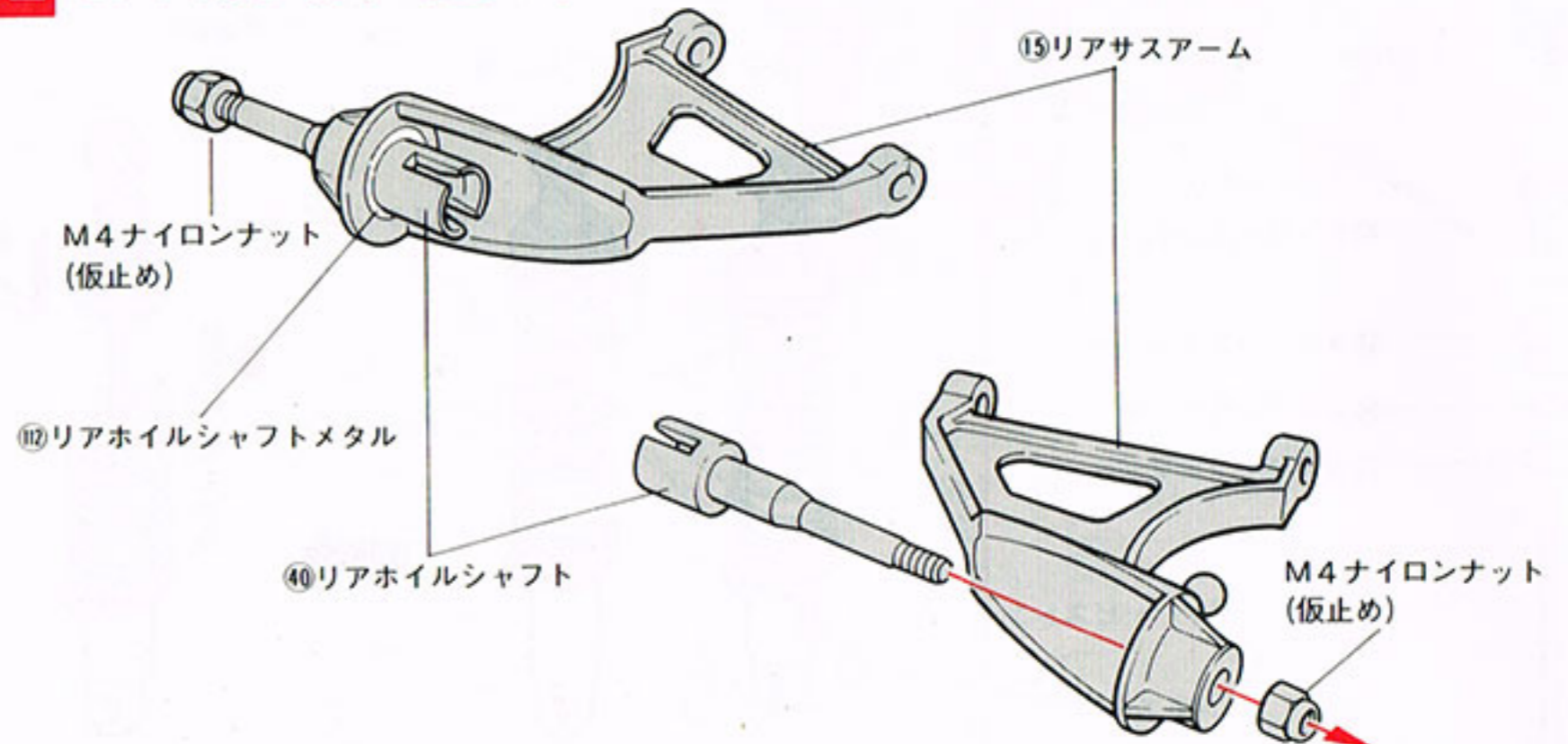
リア用2個(右・左)つくります。



フロント用2個(右・左)つくります。

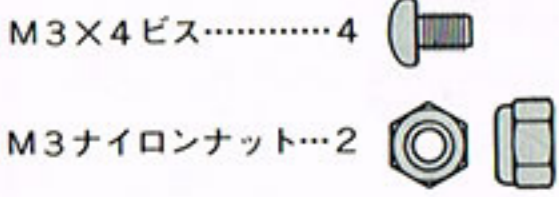


12 リアホイールシャフトのとりつけ



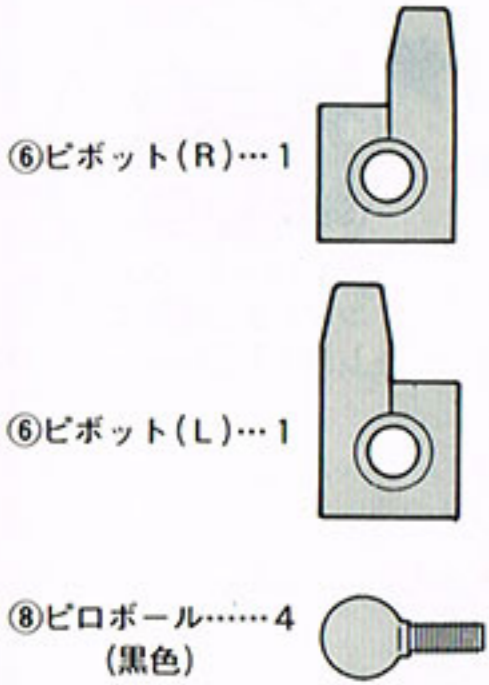
13 リアサスアームのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉



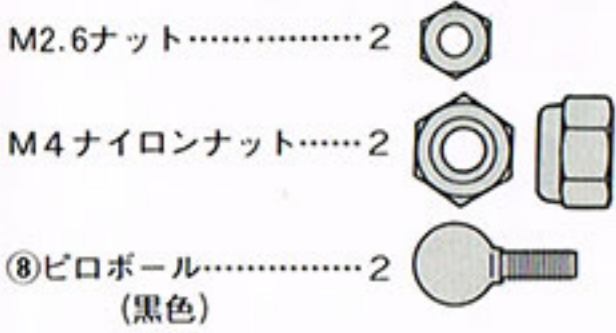
14 ナックルのくみだて

〈使用する小物パーツ〉

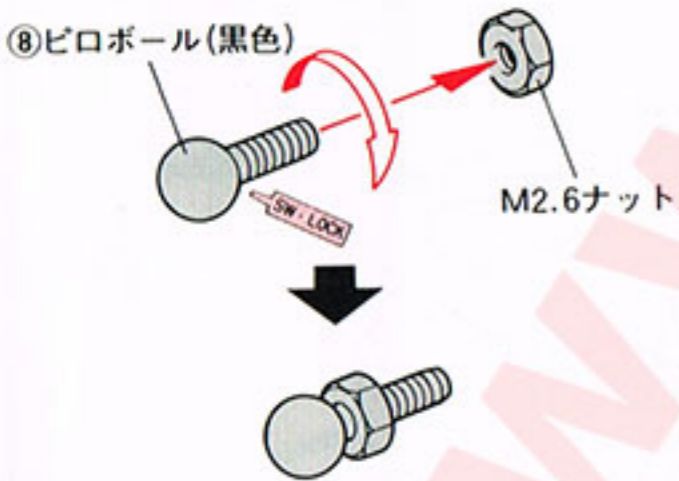


15 ダンパーボールのとりつけ

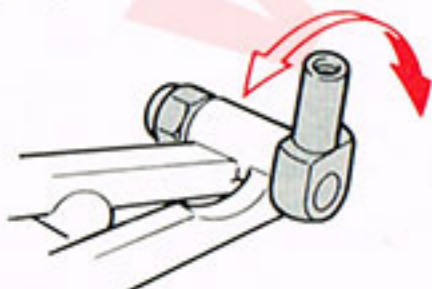
〈使用する小物パーツ〉



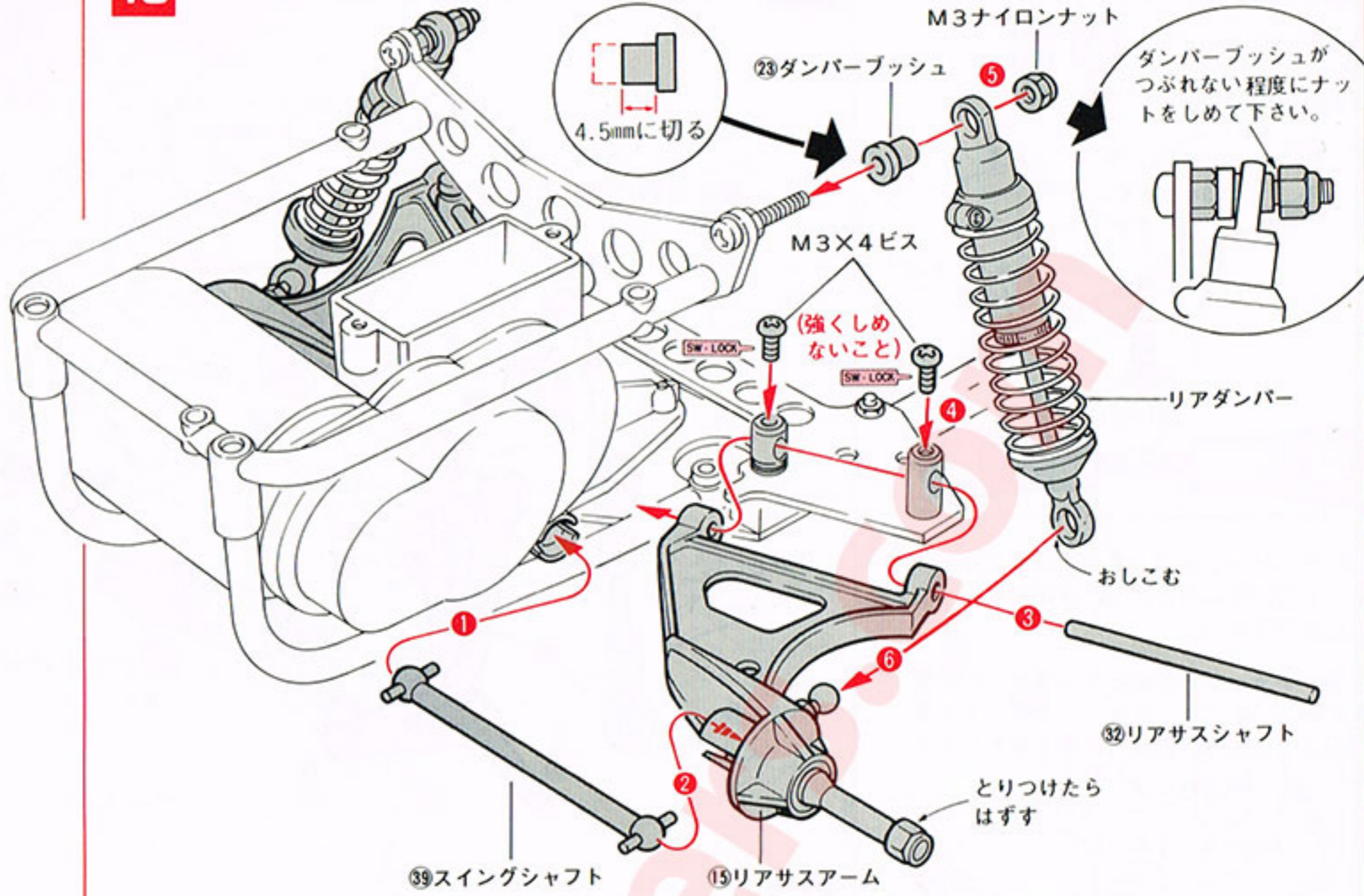
ピロボールにナットをねじこむ。



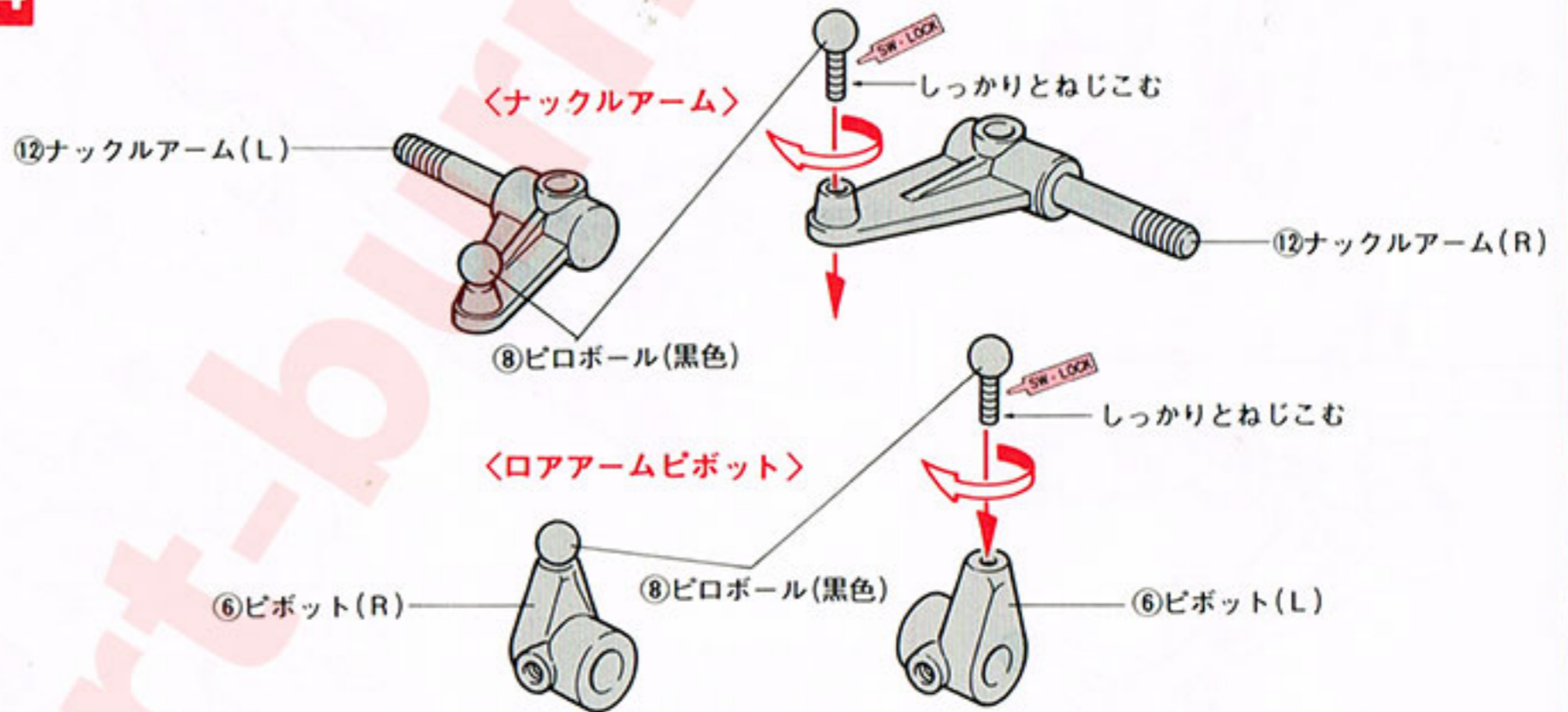
アップライトが前後に軽く動くようセットして下さい。



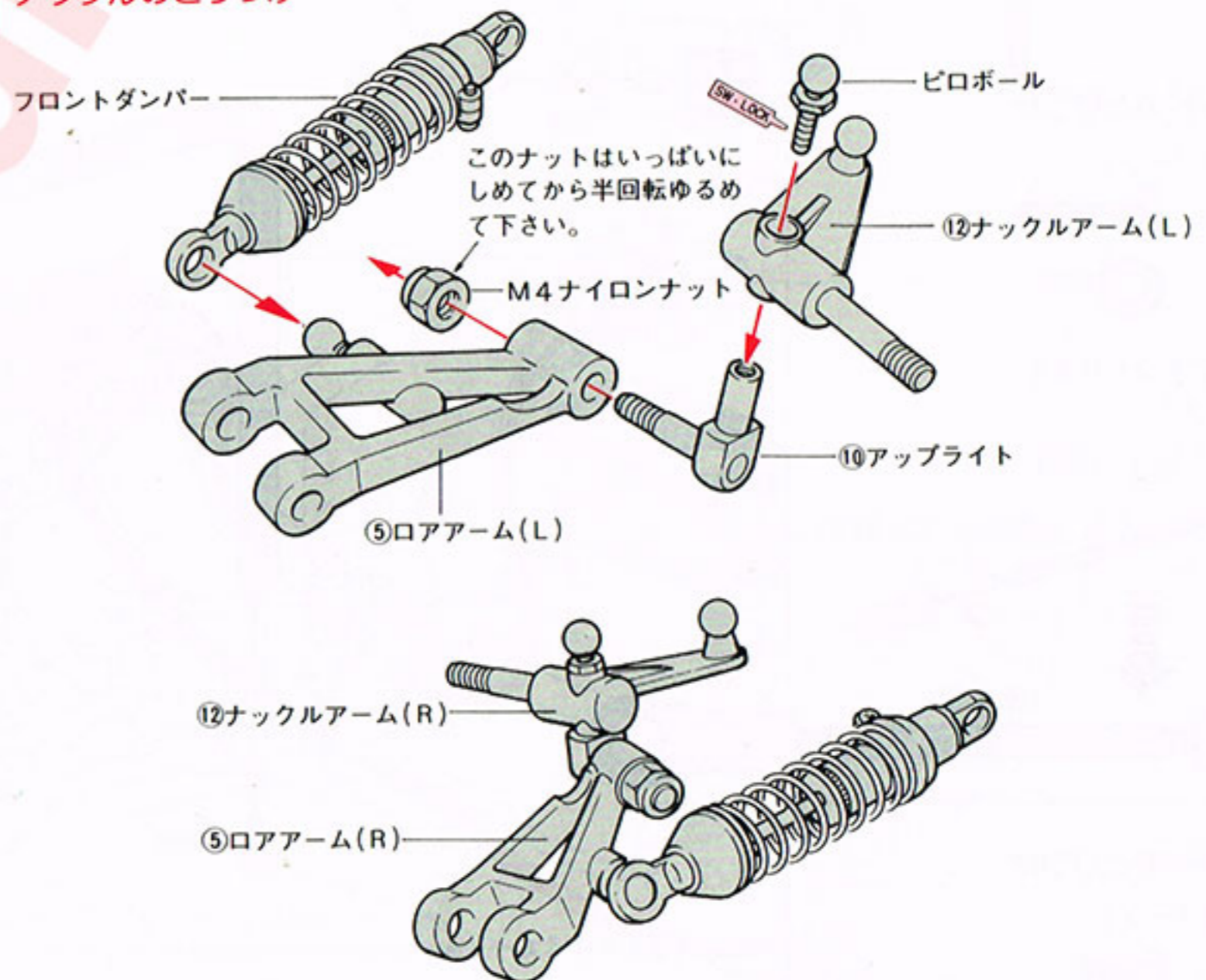
13 リアサスアームのとりつけ ①から⑥の順にとりつけます。



14 ナックルのくみだて



15 ナックルのとりつけ



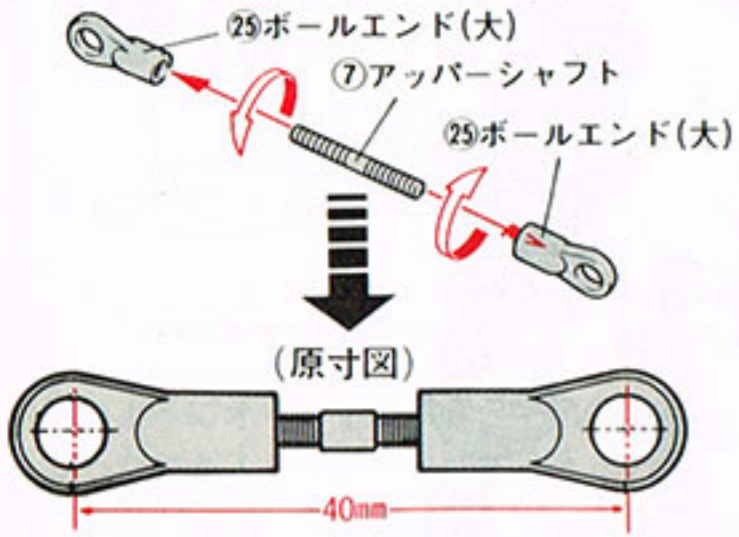
16 ロアアームのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3ナイロンナット…2

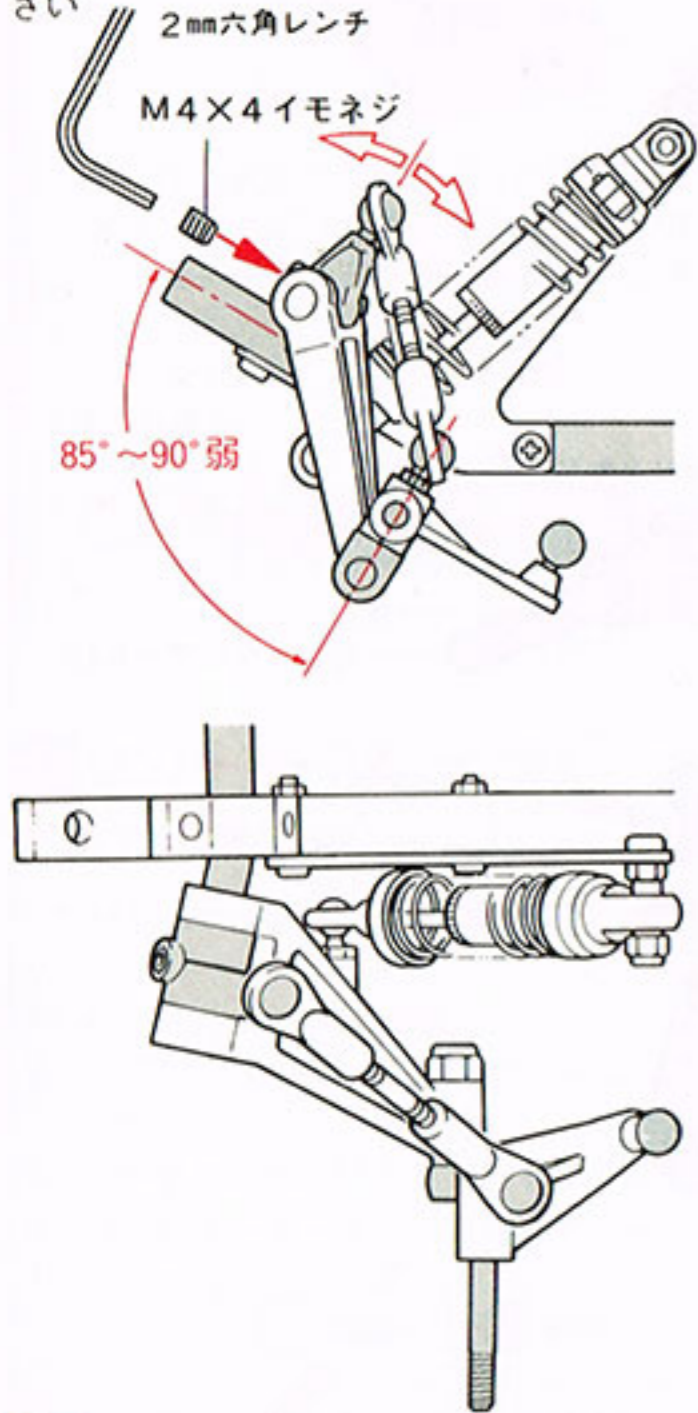
M4×4イモネジ…2

アッパーシャフトを2本つくります。



(注)アッパーシャフト7のネジ部はボールエンド(大)25に右左同じ長さになるようねじ込んで下さい。

下図のシャーシ前部とキングピンの角度を約85°~90°位になるよう、ピボットを矢印のように前後に動かし角度を合わせて下さい



17 タイロッドのとりつけ

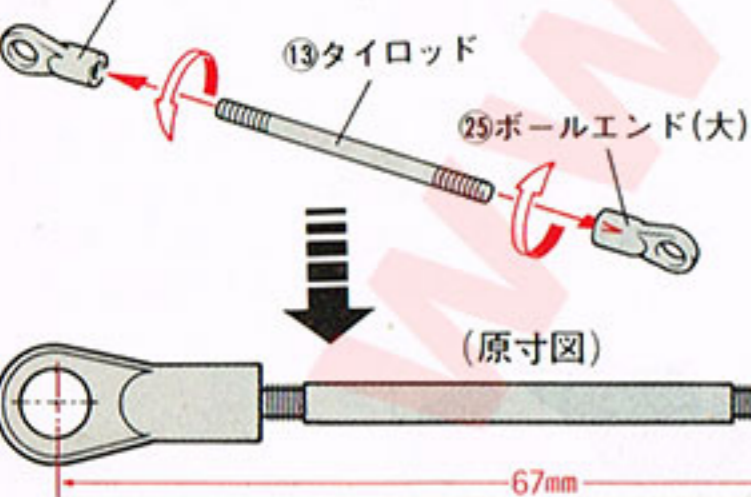
〈使用する小物パーツ〉

M3×12ビス…2

M3ナット…2

タイロッドを2本つくります。

25ボールエンド(大)



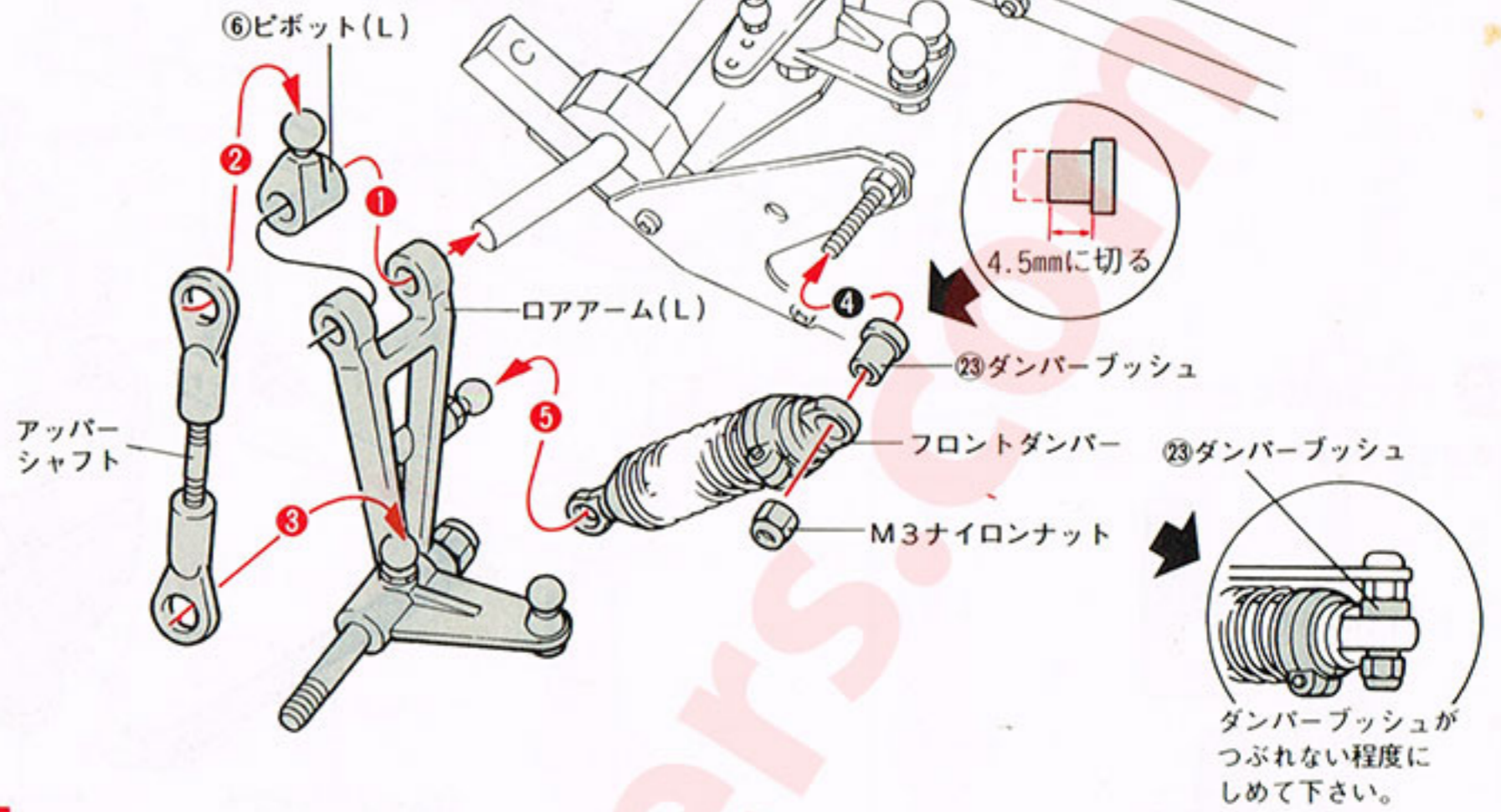
18 ロールバーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

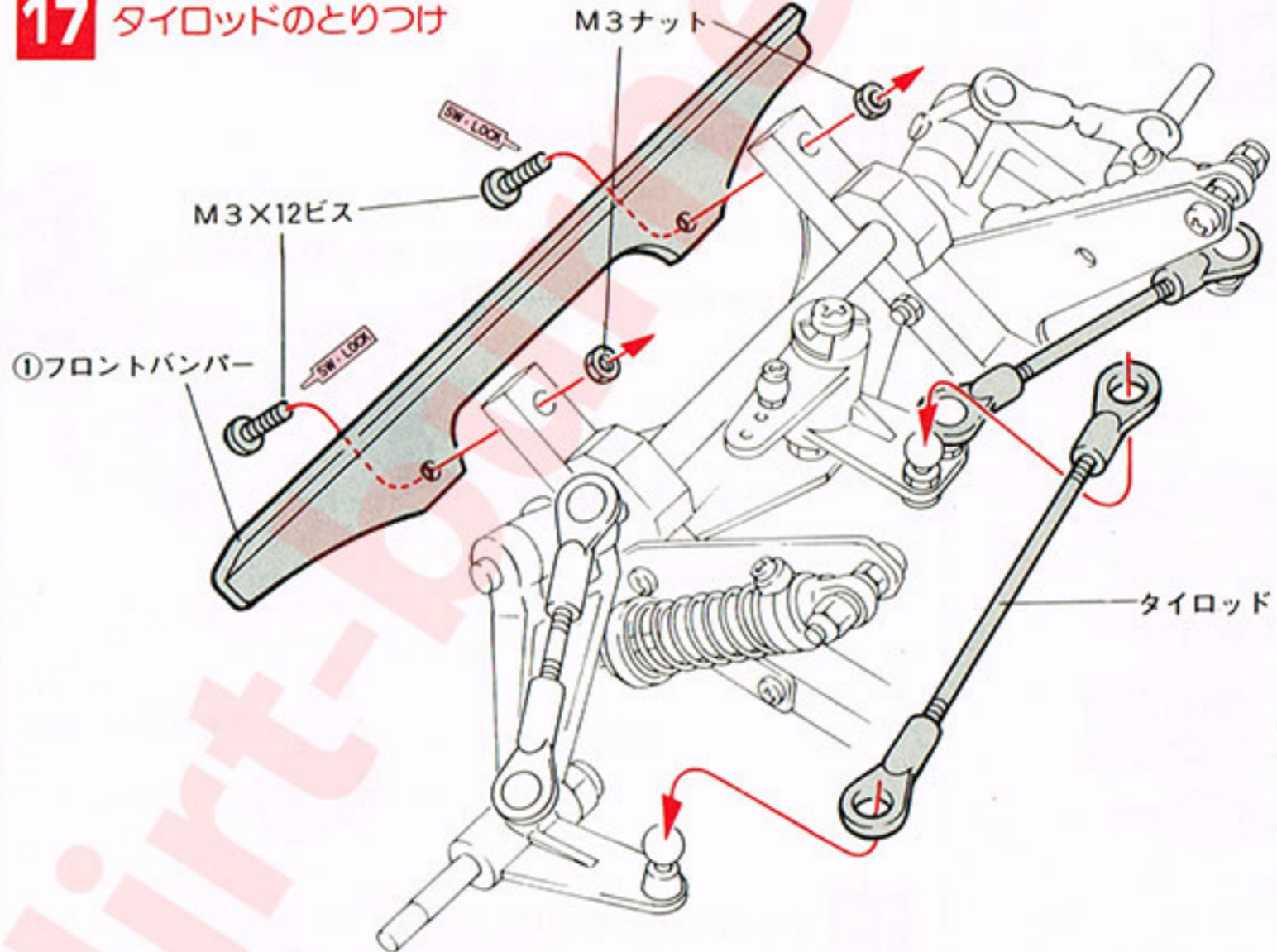
M3×6ビス…2

16 ロアアームのとりつけ

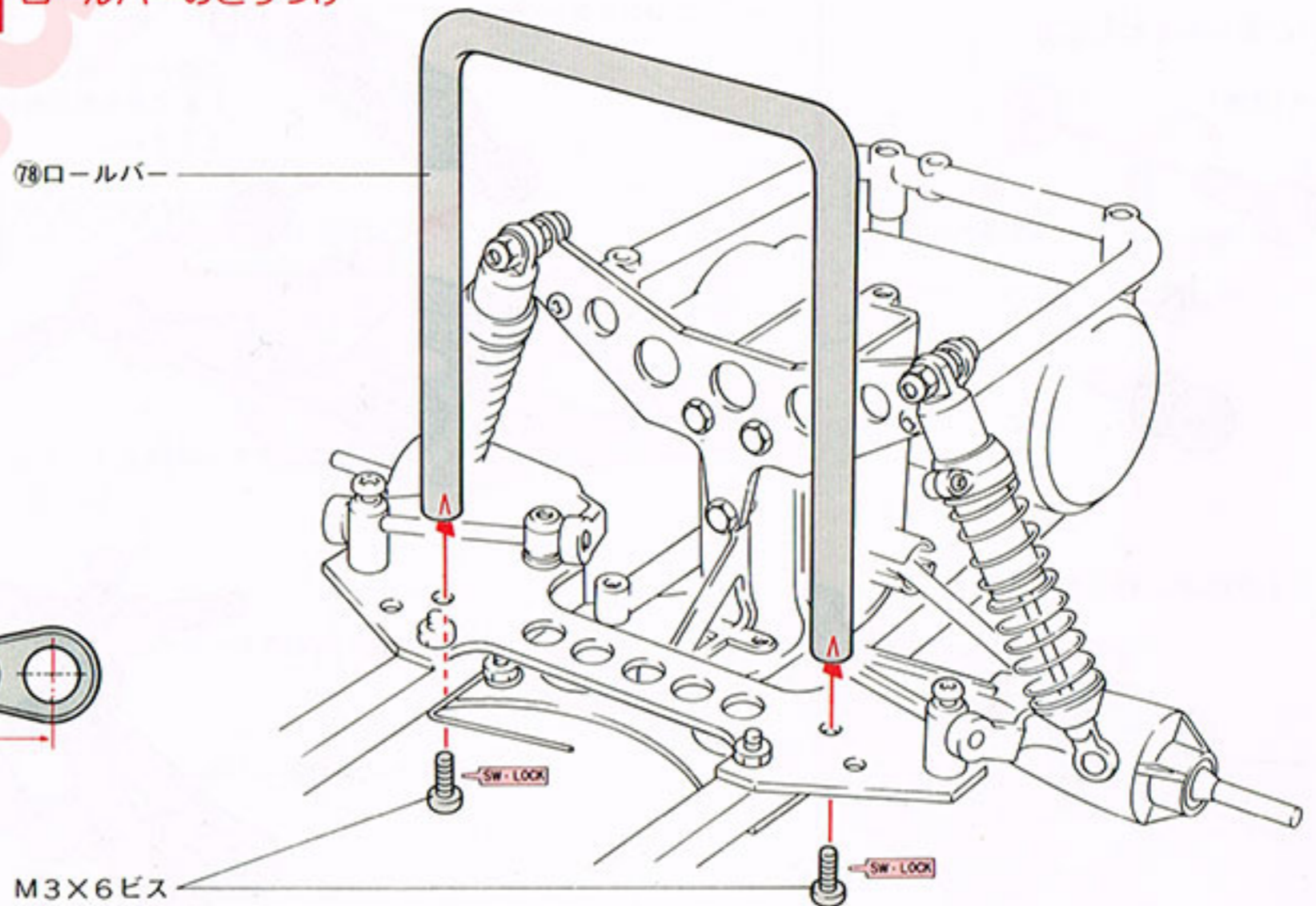
①から⑤の順にとりつけます。



17 タイロッドのとりつけ



18 ロールバーのとりつけ



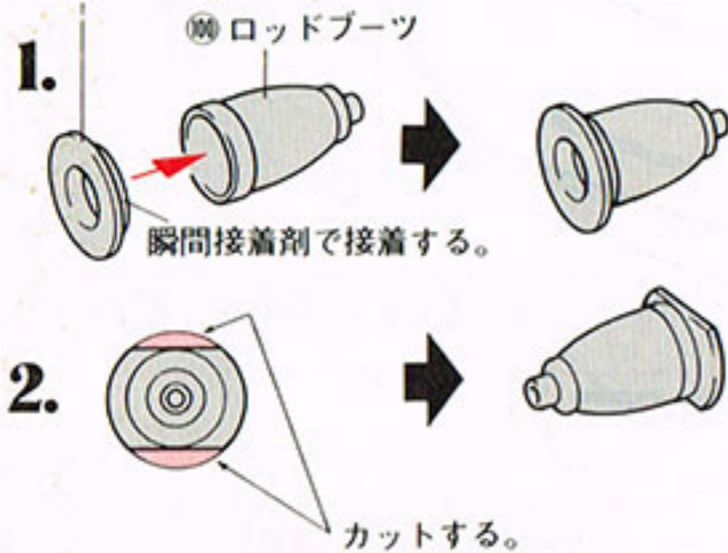
19 ロッドブーツのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

- M3×6ビス.....2
- M3×8タッピングビス...2
- 96メカハッチフック.....1
- 98ボディフック.....1

〈ロッドブーツのくみため〉

99ロッドリング



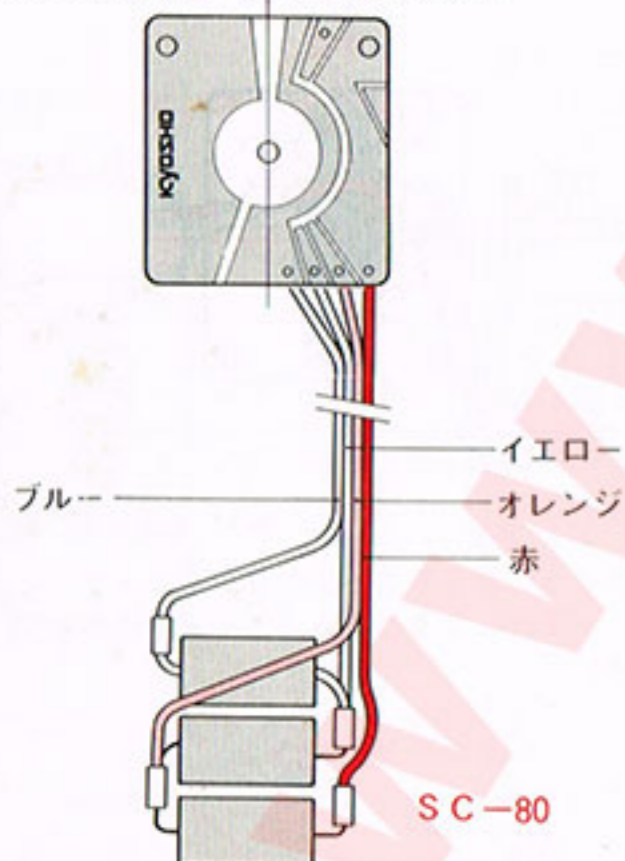
20 コントローラーのくみため

〈使用する小物パーツ〉

- M2×10ビス.....1
- M2.6×5ビス.....1
- 67リンケージボール.....1
- 91コントローラスプリング...1
- 92コントローラーナット.....1
- 93コントローラー接点.....2
- 94コントローラー押え金具.....1
- 95コントローラーピボット.....1
- M3ナット(金色).....2
- M2ナット.....1

〈4速に改造する方法〉

本車は前進3速(ロー・中スロー・ハイ)バック1速ですが、前進4速用の抵抗(オプション)を使用する事が可能です。



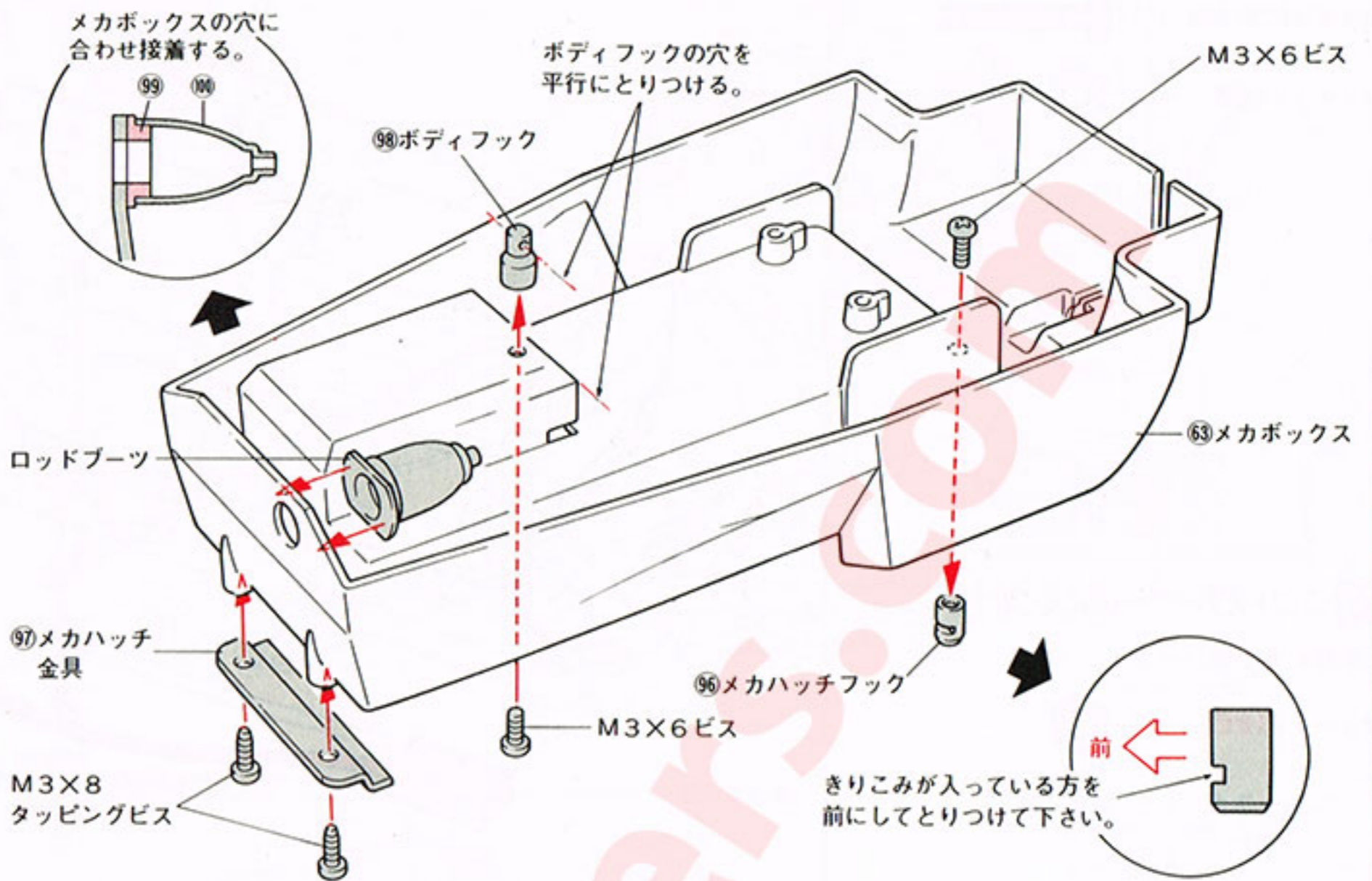
オプションの抵抗(5W-0.15Ω×3)を図のようにPC板にハンダ付けする。

21 セメントていこうのとりつけ

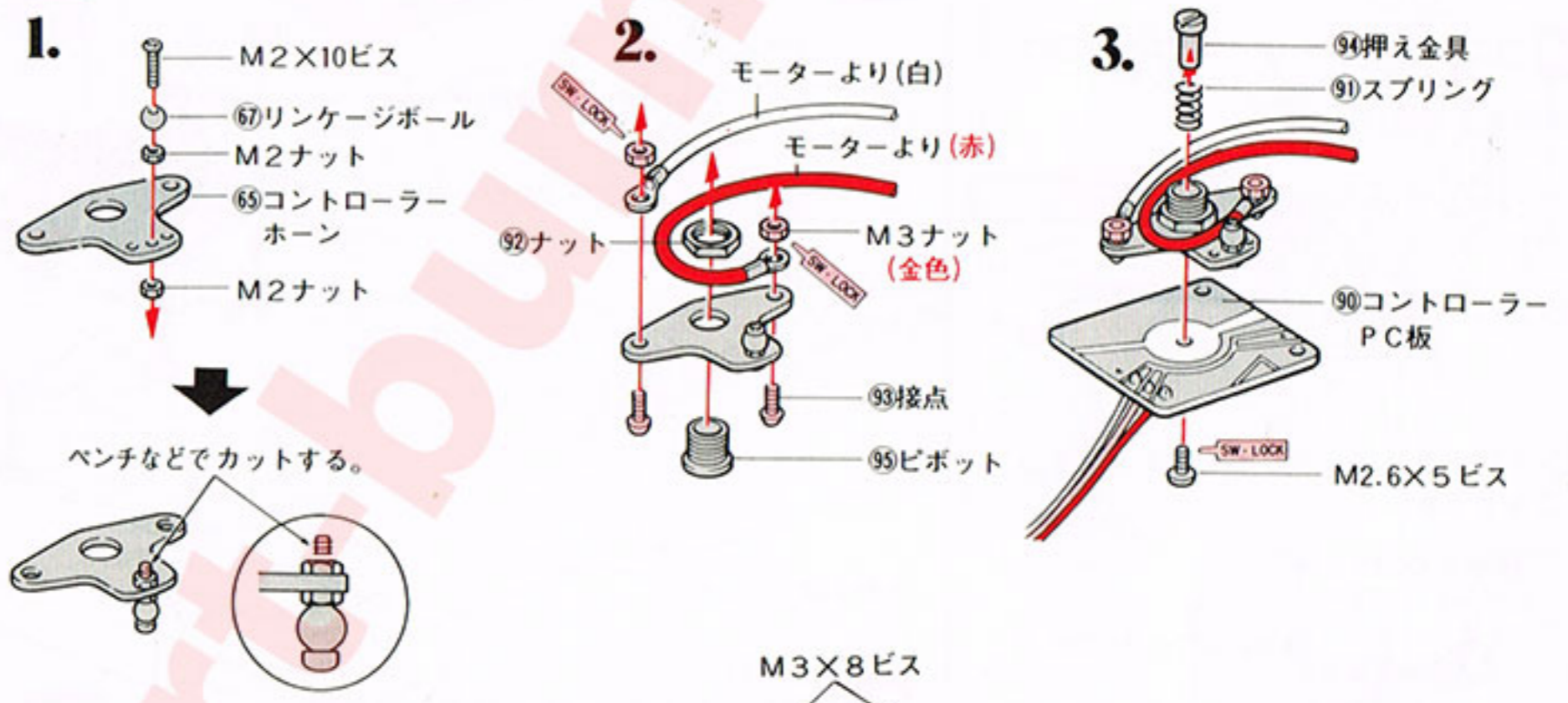
〈使用する小物パーツ〉

- M3×8ビス...2

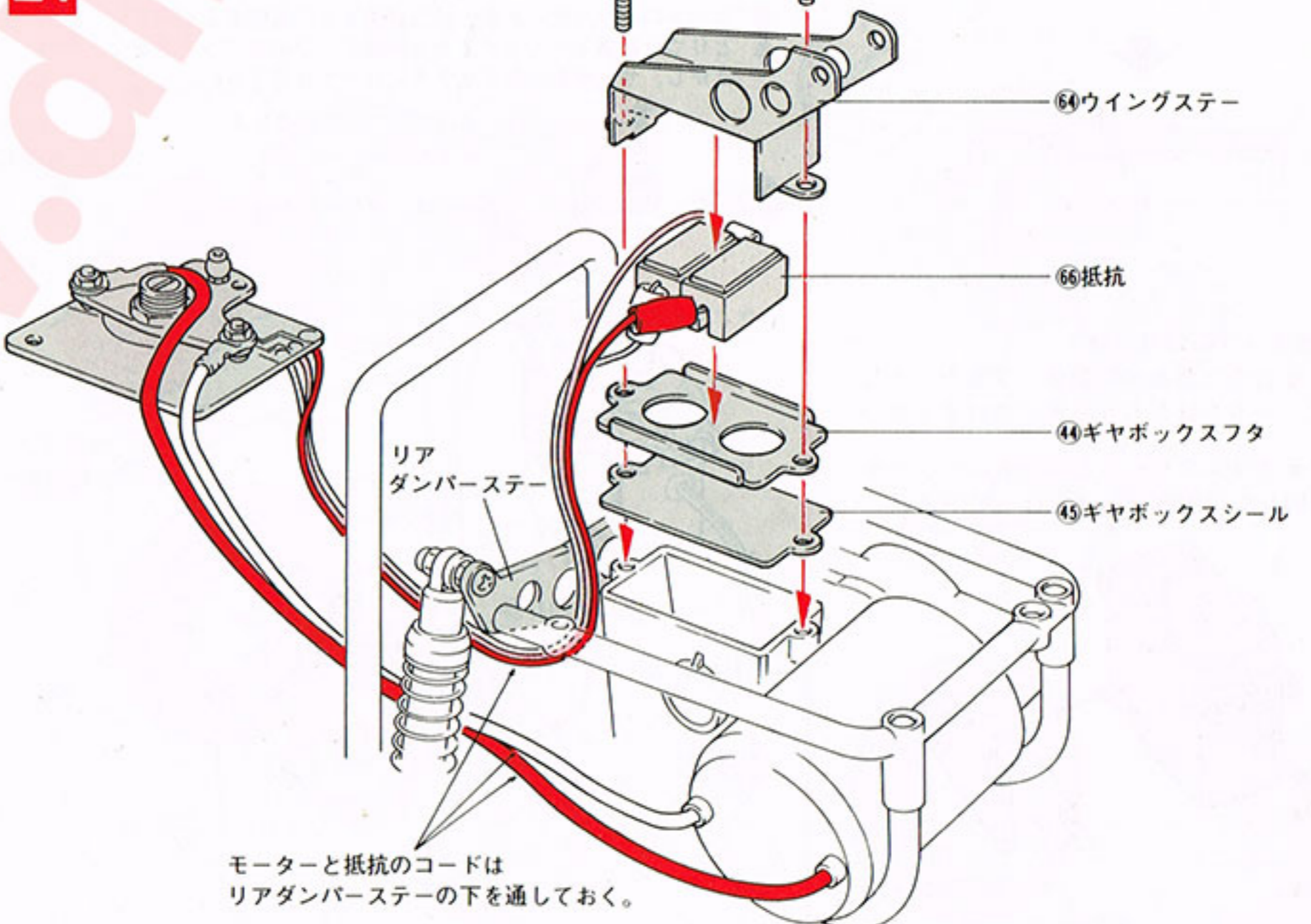
19 ロッドブーツのとりつけ



20 コントローラーのくみため



21 セメントていこうのとりつけ



22 メカボックスのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2.6×8ビス……………2

M3×15ビス(金色)…2

M3ナット(金色)…2

23 コントローラーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3ナット(金色)…2

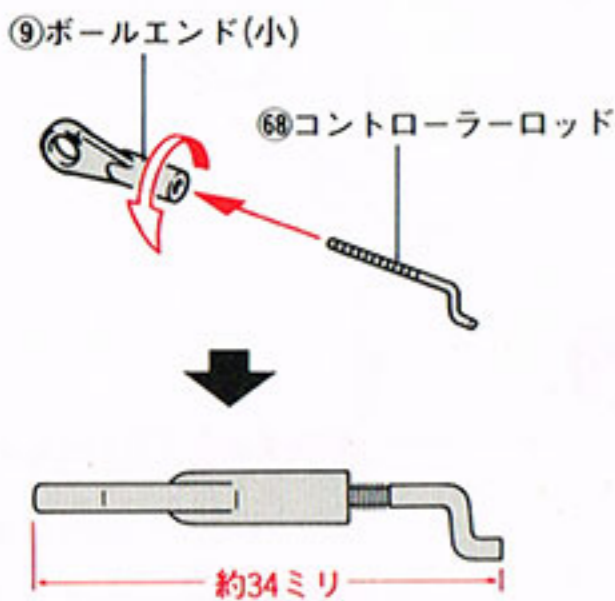
24 コントローラーサーボのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

⑨ボールエンド(小)…1

⑥⑧コントローラーロッド…1

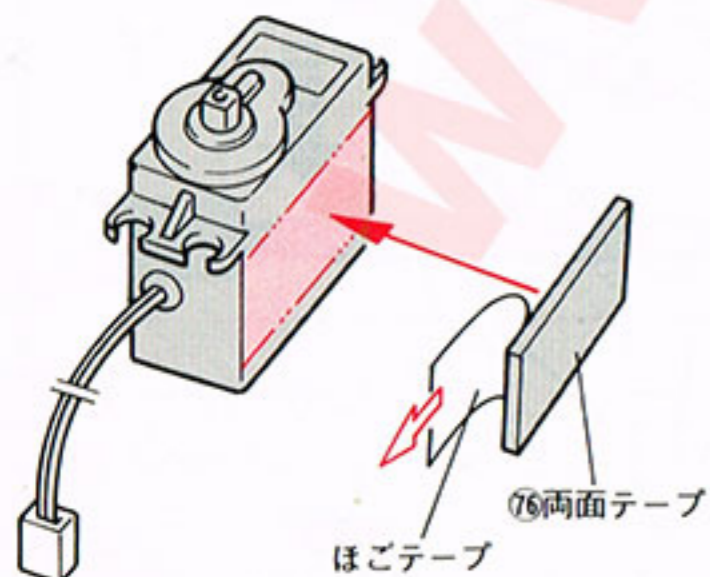
コントローラーロッドにボールエンドをねじこんで下さい。



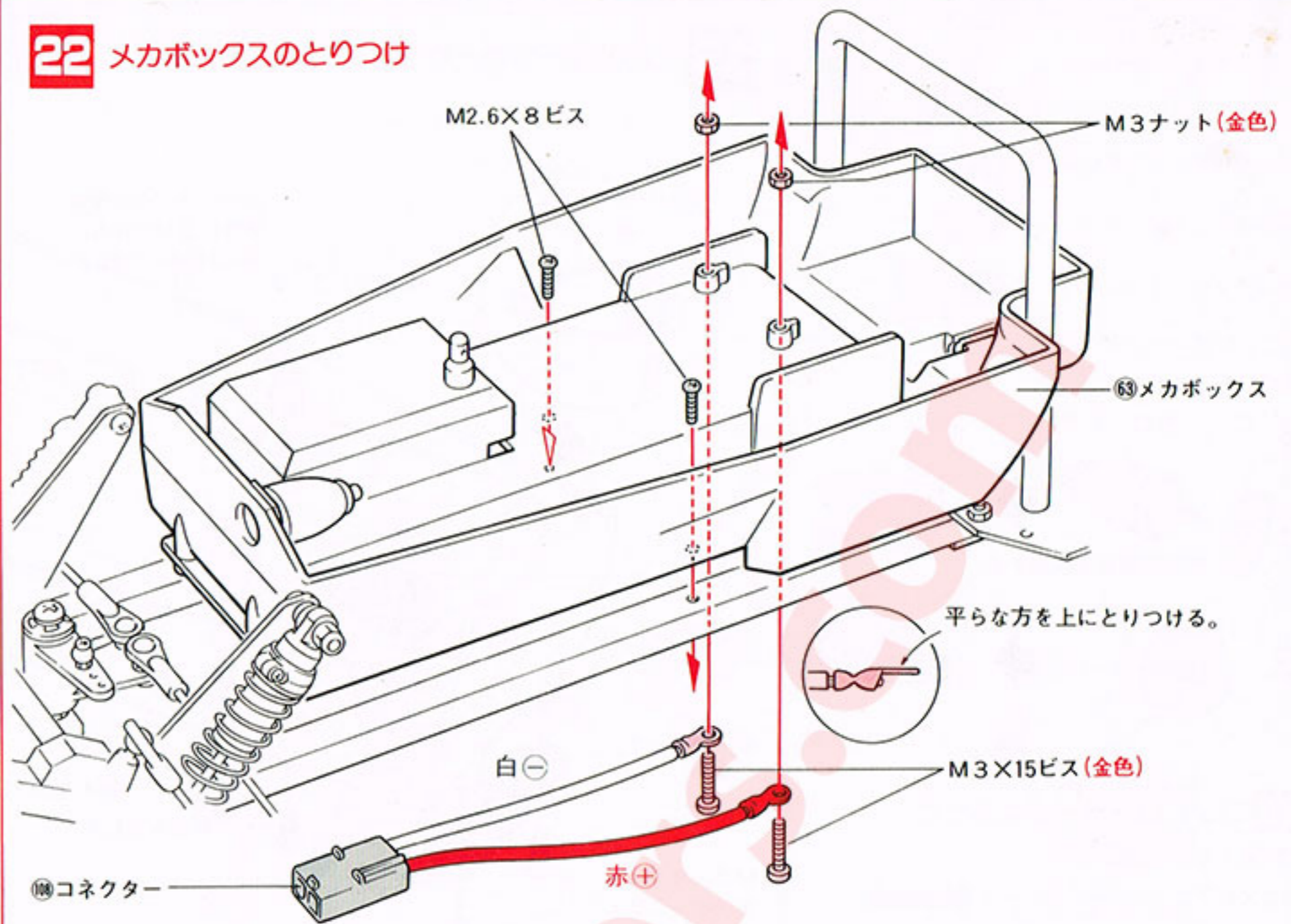
〈両面テープのはりつけ〉

サーボの巾に合わせ両面テープをカットし、ほごシートをはがしサーボにつけて下さい。

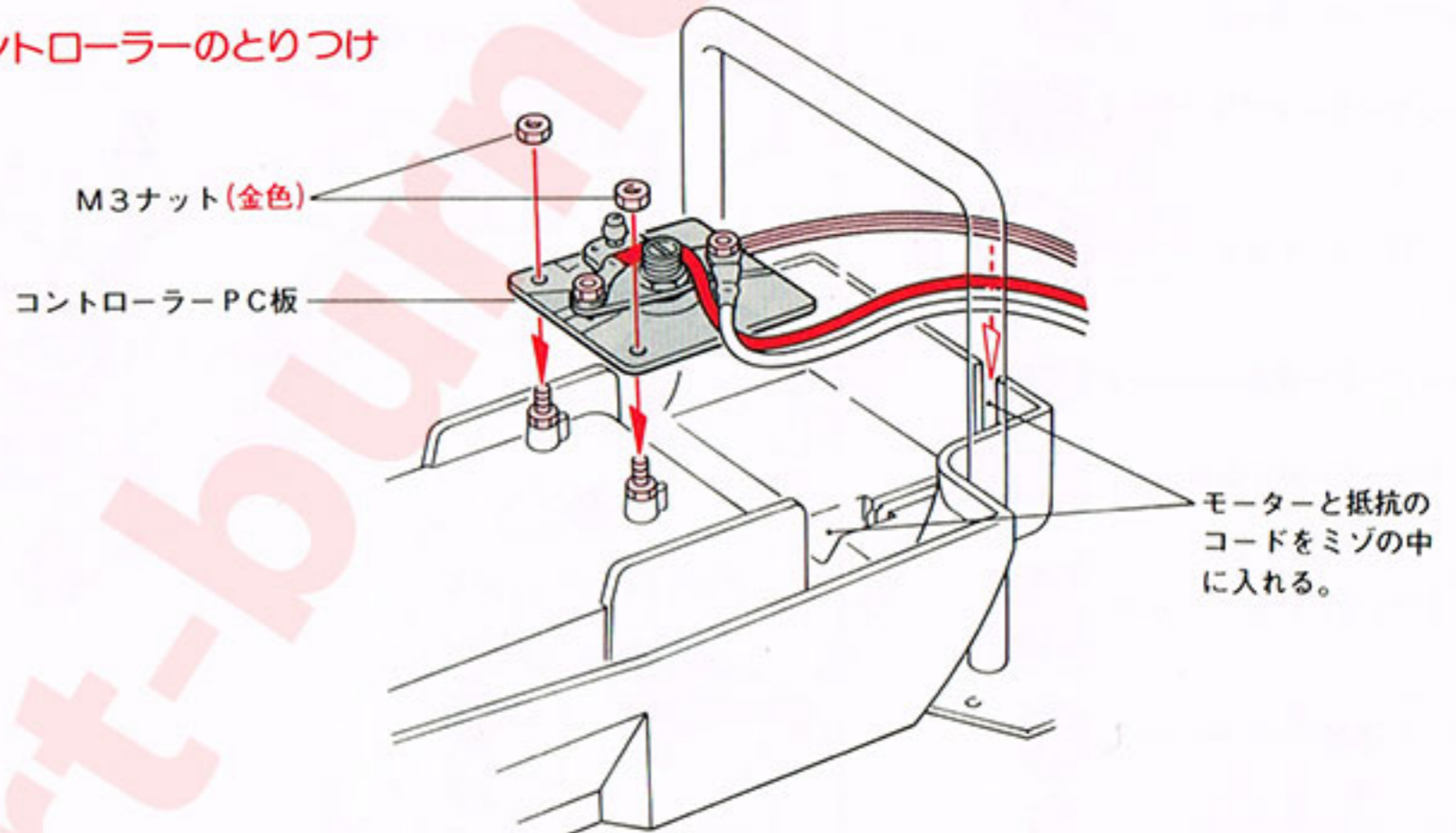
※ステアリングサーボとコントローラーサーボの2つに両面テープをはって下さい。



22 メカボックスのとりつけ

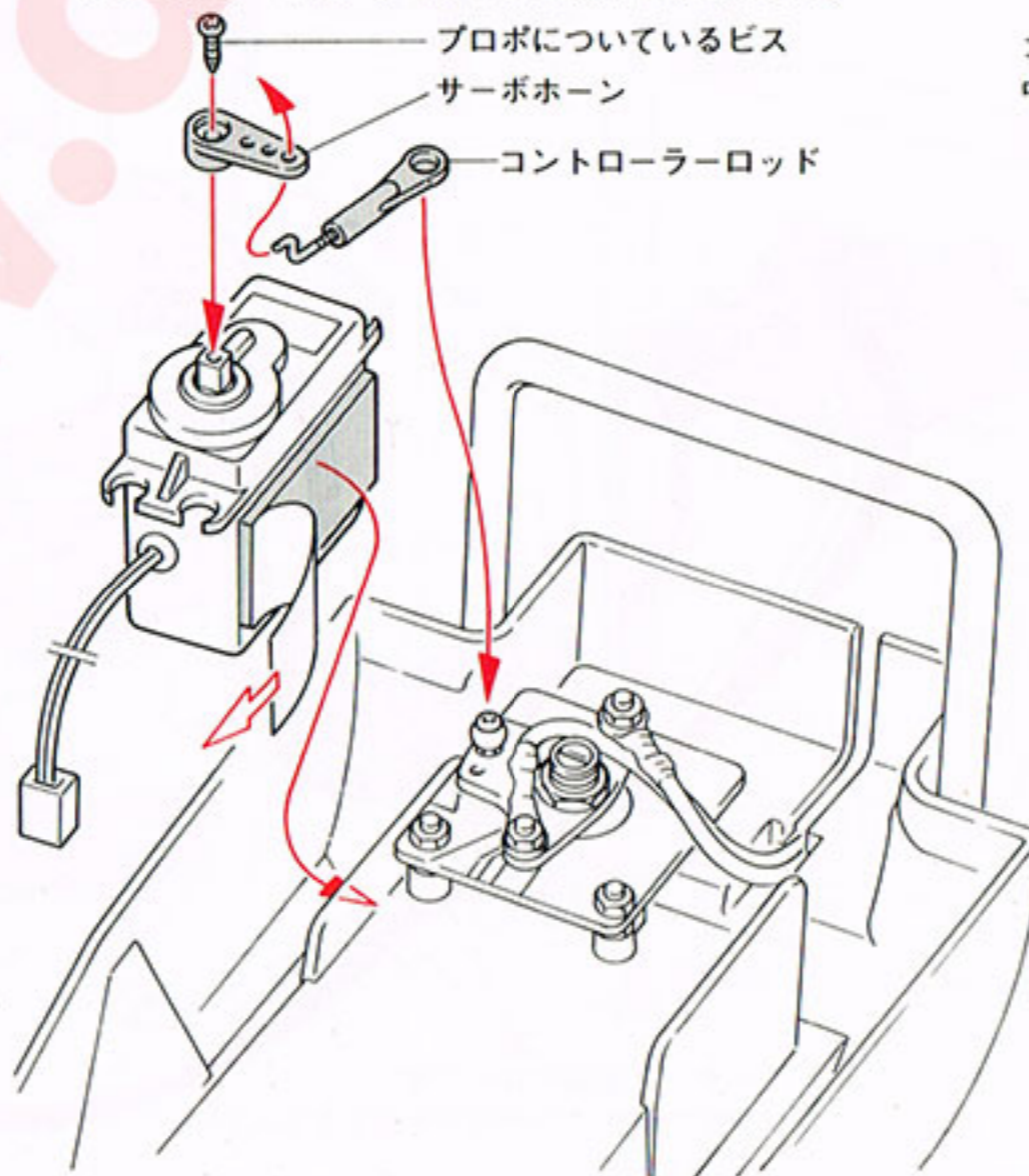


23 コントローラーのとりつけ



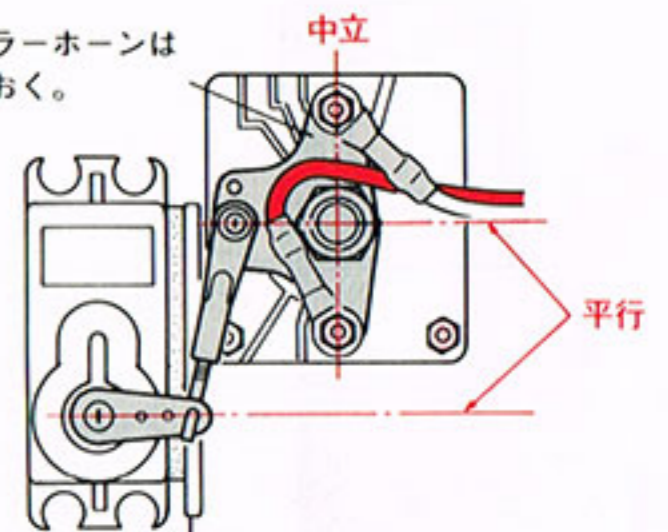
24 コントローラーサーボのとりつけ

(注) コントローラーサーボをとりつけるまえに右図をよくみて、とりつけ位置をたしかめてから両面テープのほごシートをはがし、サーボをメカボックスにはりつけて下さい。



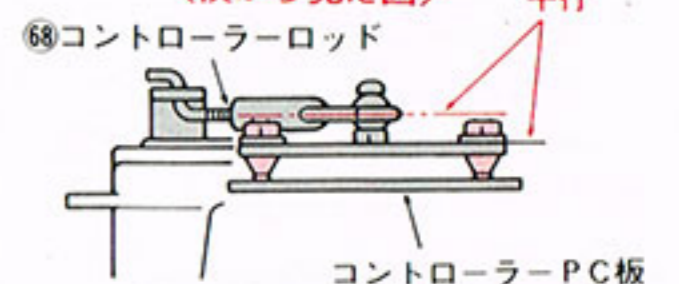
〈上から見た図〉

コントローラーホーンは中立にしておく。



上図のようにサーボホーンとコントローラーホーンが平行になるところにサーボを合わせ、つける。


〈横から見た図〉



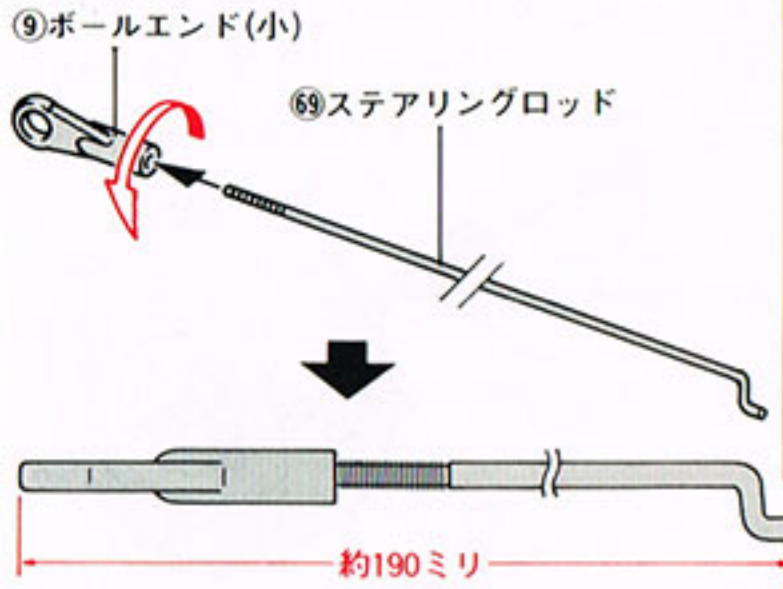
コントローラーロッドがPC板と平行になるようサーボの高さを合わせて下さい。

25 ステアリングサーボのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

⑨ボールエンド(小).....1 

ステアリングロッドにボールエンドをねじこんで下さい。

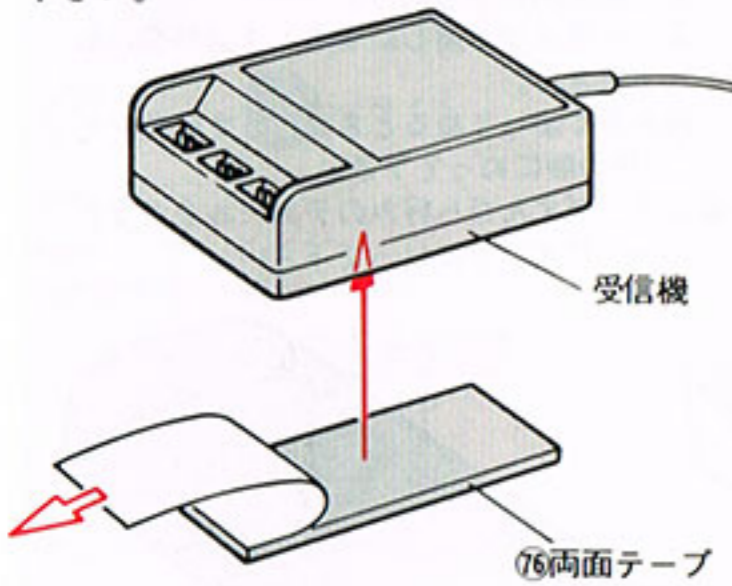


ステアリングロッドをサーボホーンに通し、両面テープのほごシートをはがしメカボックスにとりつけて下さい。

26 受信機のとおりつけ

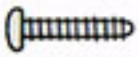
〈両面テープのはりつけ〉

受信機の中に合わせて両面テープをカットし、ほごシートをはがし受信機のうらにはって下さい。

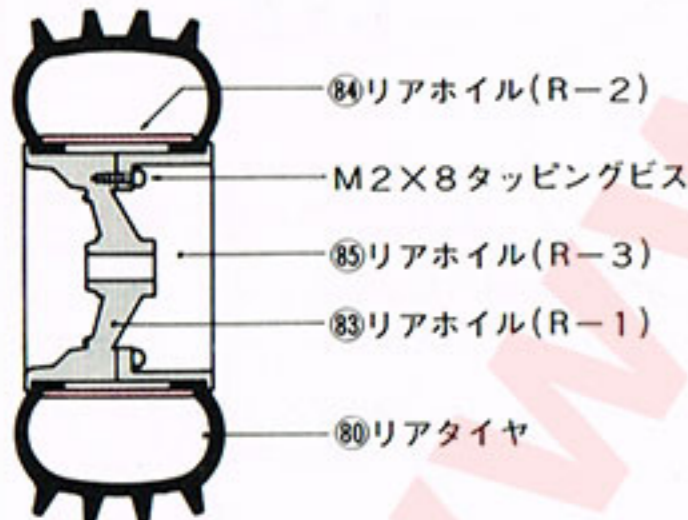


27 タイヤのくみだて

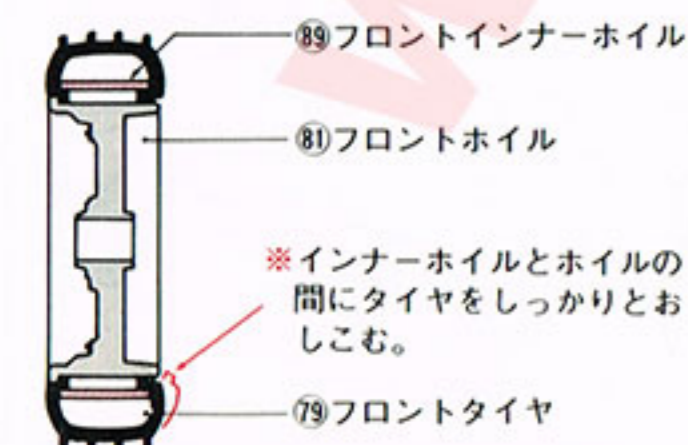
〈使用する小物パーツ〉

M2X8 タッピングビス...10 

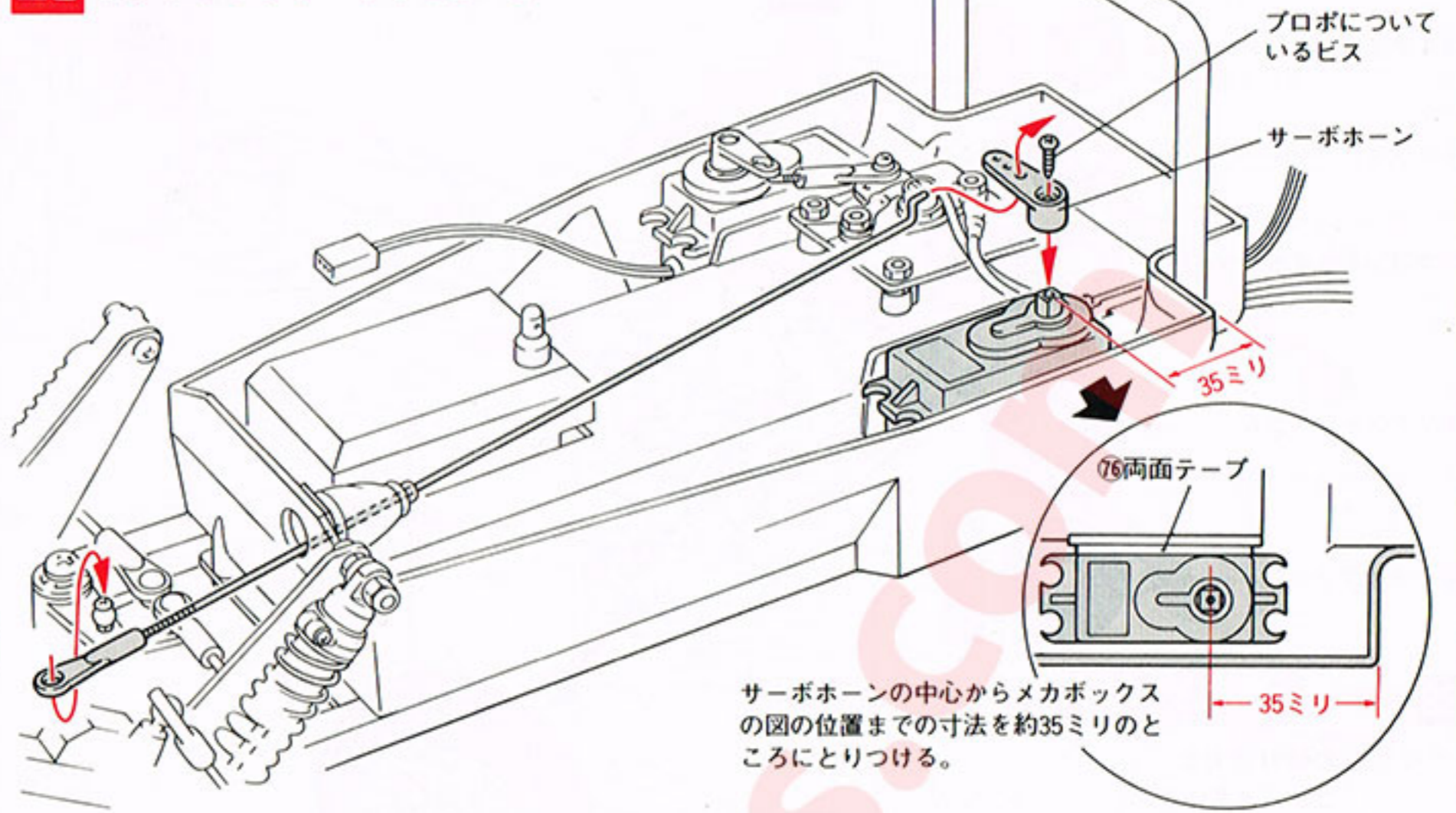
〈リアタイヤ、ホイール断面図〉



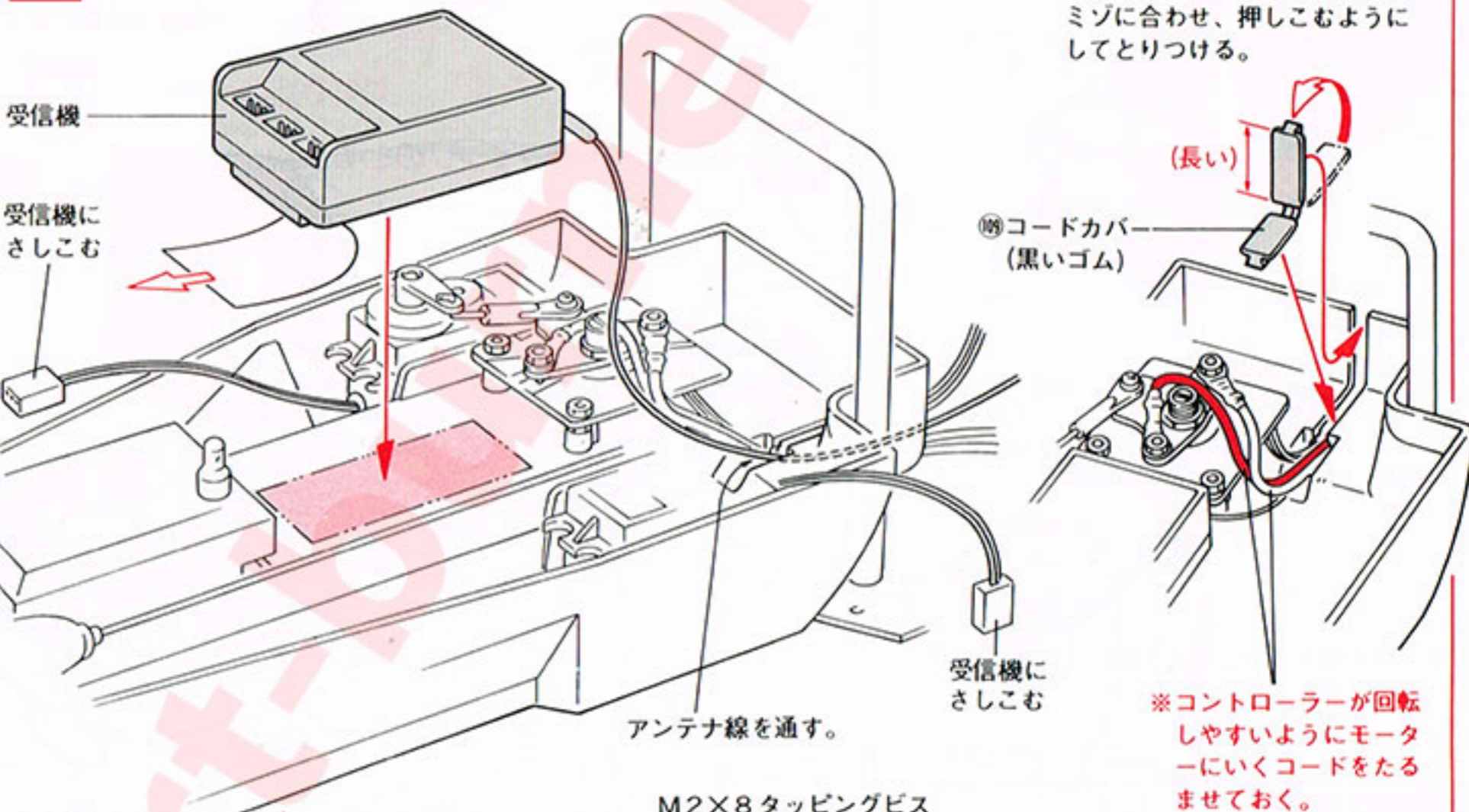
〈フロントタイヤ、ホイール断面図〉



25 ステアリングサーボのとりつけ



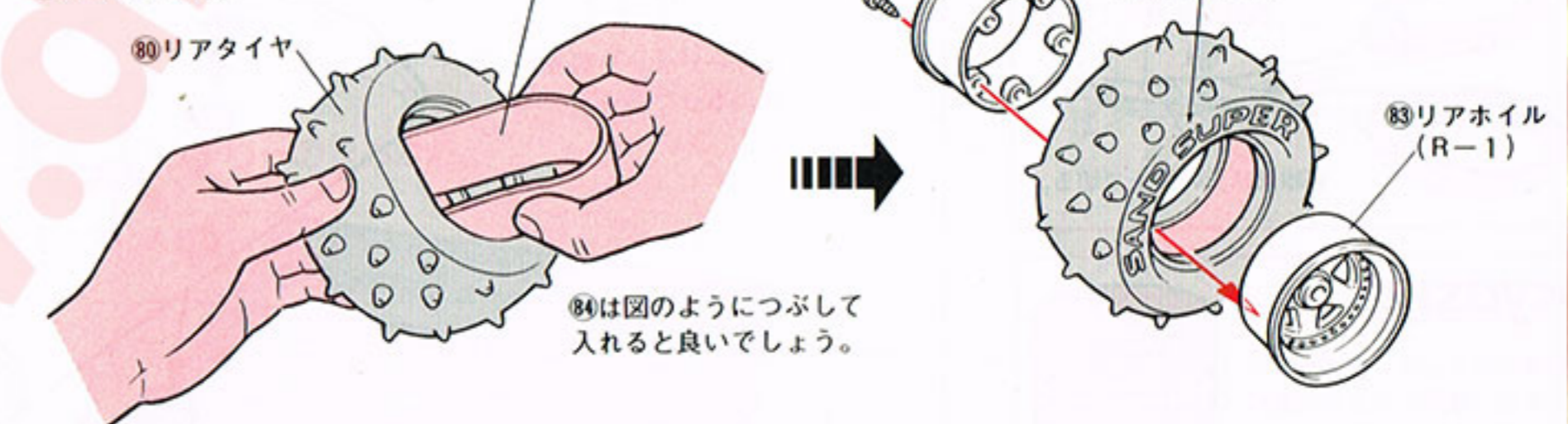
26 受信機のとおりつけ



27 タイヤのくみだて

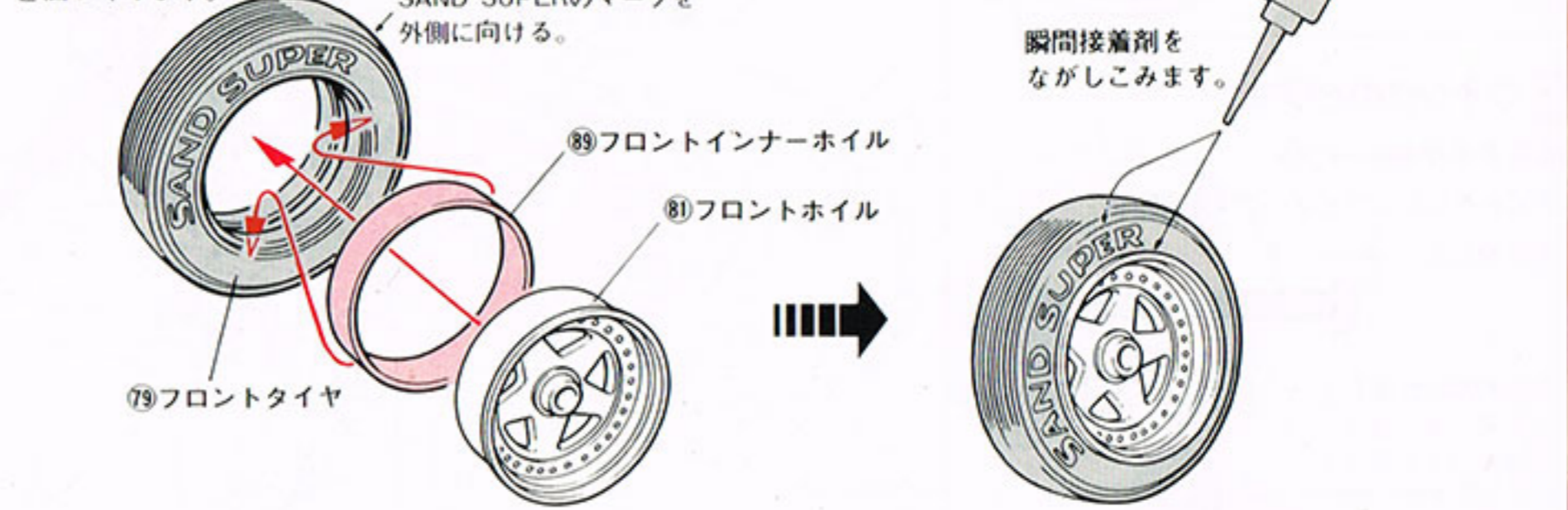
〈リアホイール〉

2個つくります。



〈フロントホイール〉

2個つくります。



28 タイヤのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M4ナイロンナット……4



4φワッシャー……4



⑧2フロントホイールメタル……2



⑩リアシャフトシム……2



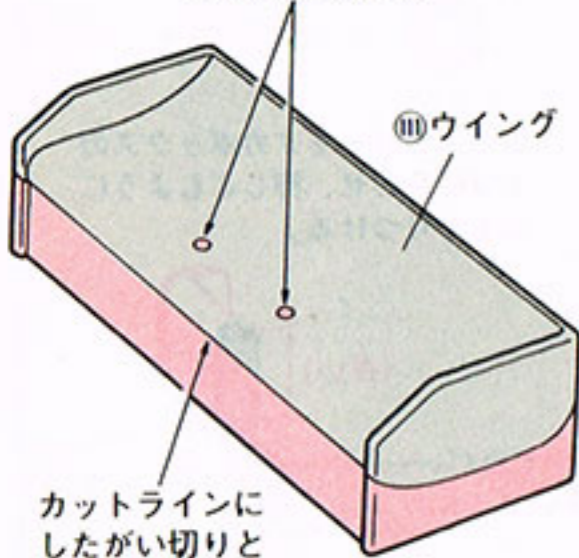
⑫ドライブワッシャー……2



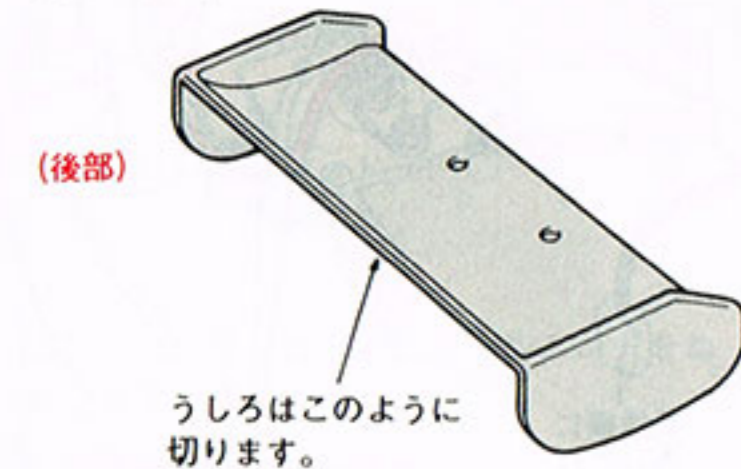
29 ドライバーとウイングのとりつけ

〈ウイングの切りとり〉

3φ穴をあける。



カットラインにしたがい切りとって下さい。



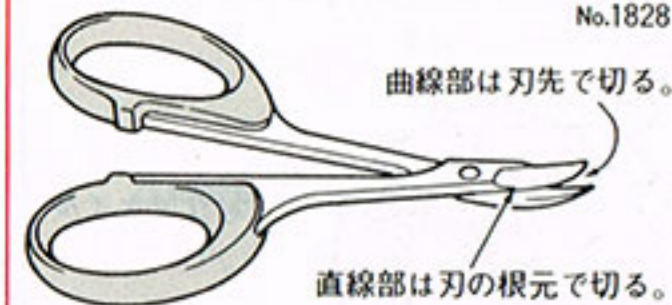
(後部)

うしろはこのように切ります。

KYOSHO

京商ではポリカーボボディ工作用の専用ハサミ「ラウンドカッター」を発売しております。

No.1828



曲線部は刃先で切る。

直線部は刃の根元で切る。

KYOSHO

京商ポリカカラーはポリカーボボディ専用のアクリル塗料で大変あつかいやすく、色も12色そろっております。

No.2230



30 ウイングのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×8タッピングビス……2



M3×28ビス……1



M3ナイロンナット……1



3φワッシャー……2



28 タイヤのとりつけ

4φワッシャー

フロントタイヤ

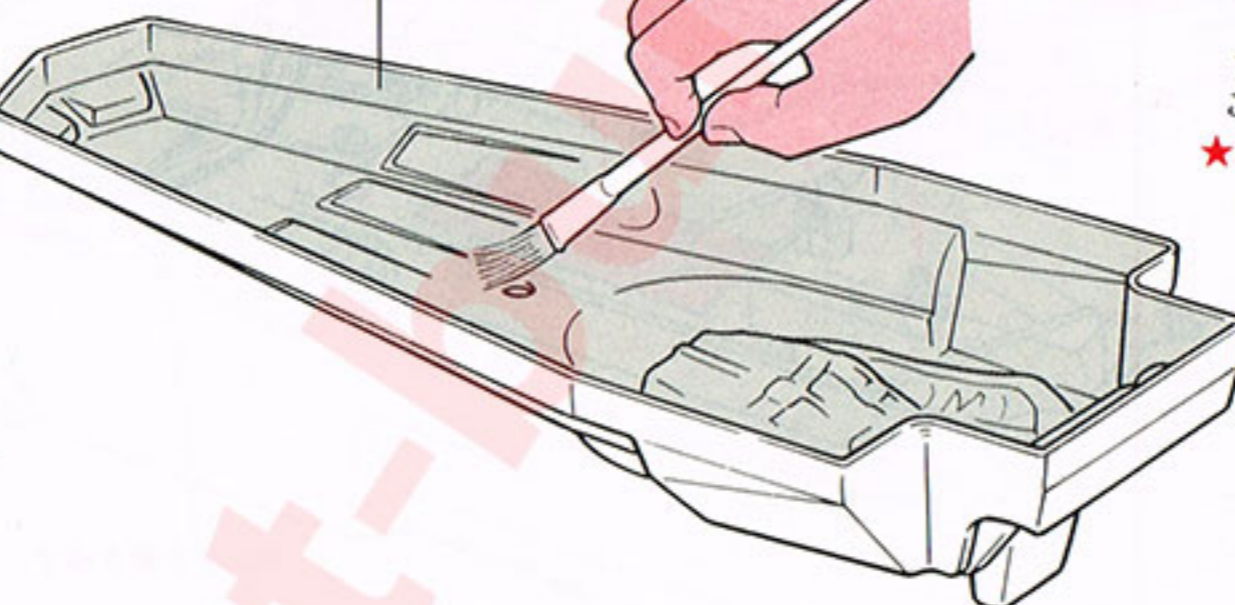
⑧2フロントホイールメタル

4φワッシャー

M4ナイロンナット

29 ドライバーとウイングのとりつけ

⑬6ドライバー



★ポリカーボボディは内側からぬるとツヤがでます。

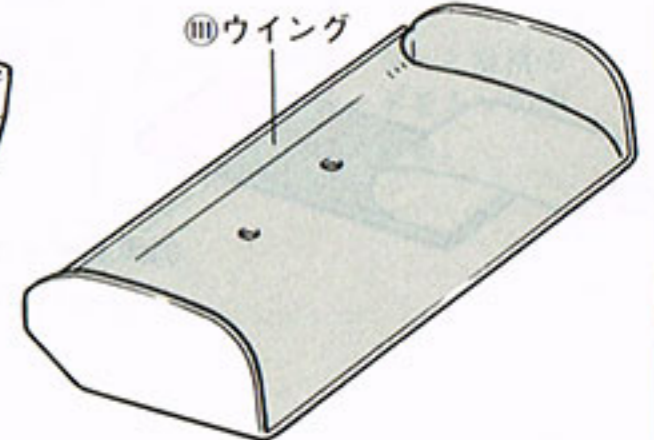
全体をツヤがあるようにするときは、すべての色を内側からぬって下さい。

又、一部をツヤ消しにするときは外側にぬって下さい。

色を多く使ってぬるときは、うすい色からこい色の順にぬって下さい。

★とそうがすんだら好みのデカールをドライバー、ウイングにはって下さい。

⑩ウイング



30 ウイングのとりつけ

M3ナイロンナット

M3×28ビス

M3×8タッピングビス

3φワッシャー

⑩ウイング

⑩ウイングホルダー (黒のプラパーツ)

M3×28ビス

M3×8タッピングビス

3φワッシャー

M3ナイロンナット

M3×28ビス

反対側も同じようにとりつけて下さい。

⑩リアシャフトシム (ガタがある時、入れる)

⑫ドライブワッシャー

リアタイヤ

ギザギザのある方が外側

ベンチなどでスイングシャフトをつかみ、ナイロンナットをしめる。

M4ナイロンナット
いっぱいにしてリアタイヤが空まわりしないようにして下さい。

(いっぱいにしてから半回転ゆるめ、フロントタイヤが空まわりするようにして下さい。)

31 ドライバーガードのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2.6×6タッピングビス…8

M3×8タッピングビス…4

3φワッシャー…2

〈ライトのくみたととりつけ〉

73ライト(B)

72ライト(A)

瞬間接着剤で接着。

ライト

57ドライバープレート

M3×8タッピングビス

74ドライバーガード(R)

75ドライバーガード(L)

M3×8タッピングビス

ライト

32 アンテナのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×12ビス…1

M3ナット…1

アンテナを図のように曲げて下さい。

77アンテナ

直角

10ミリ

33 バッテリーのつみかた

コネクターをメカボックスの四角いところに入れ、バッテリーをつんで下さい。

コネクター

ニカドバッテリー

31 ドライバーガードのとりつけ

M2.6×6タッピングビス

57ドライバープレート

74ドライバーガード(R)

75ドライバーガード(L)

ドライバー

3φワッシャー

M2.6×6タッピングビス

スイッチ

71スイッチブーツ(黒いゴム)

70スイッチプレート

プロポについているビス

32 アンテナのとりつけ

むすびつける。

77アンテナ

アンテナ線はリアサイドガードにまきつける。

M3ナット

M3×12ビス

受信機バッテリーをメカボックスのうしろにおく。

33 バッテリーのつみかた

前を先に入れる。

78バッテリーハッチ

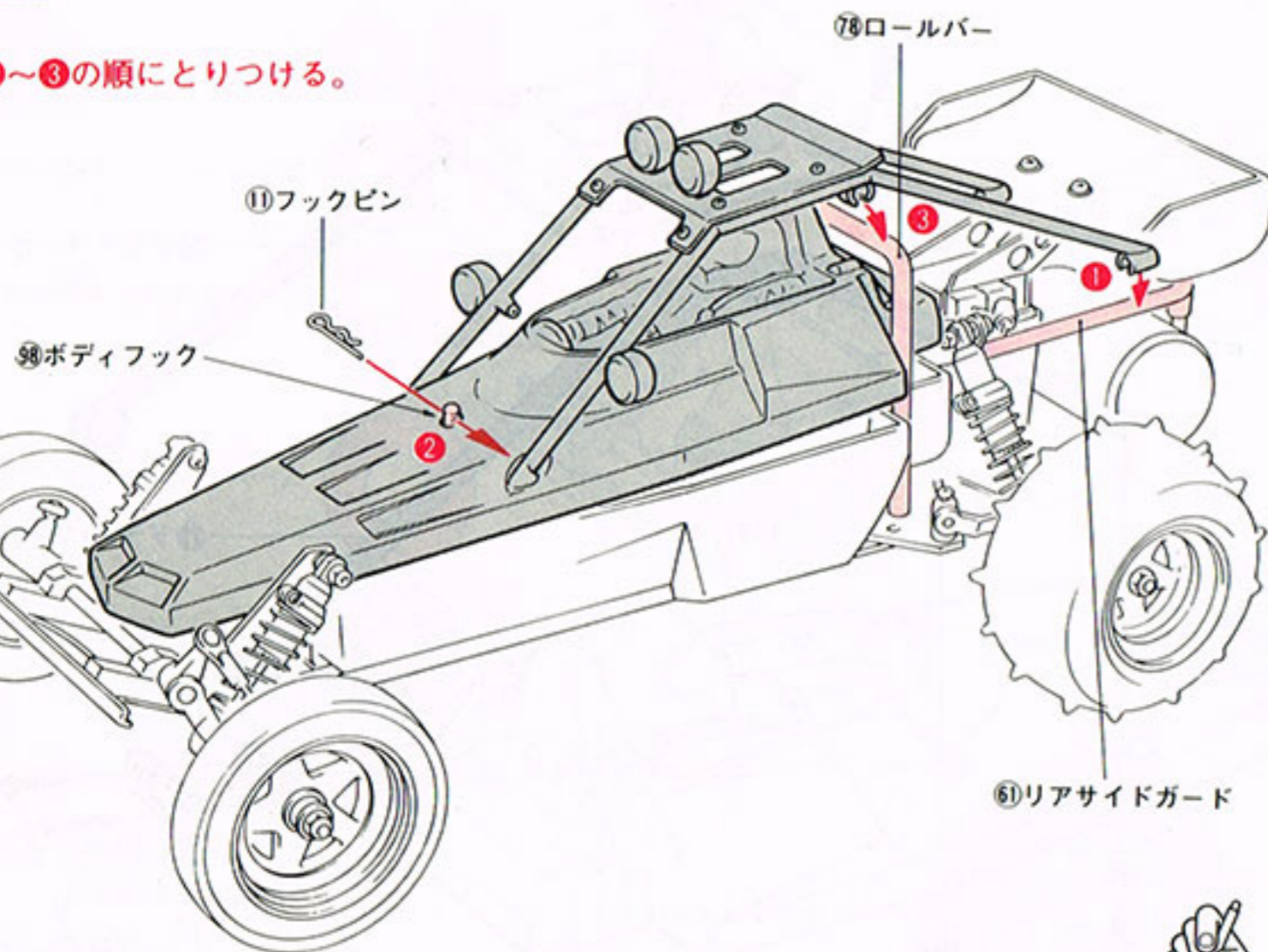
96メカハッチフック

79ハッチピン

ハッチフックの凹部にハッチピンを入れるとハッチがこていされる。

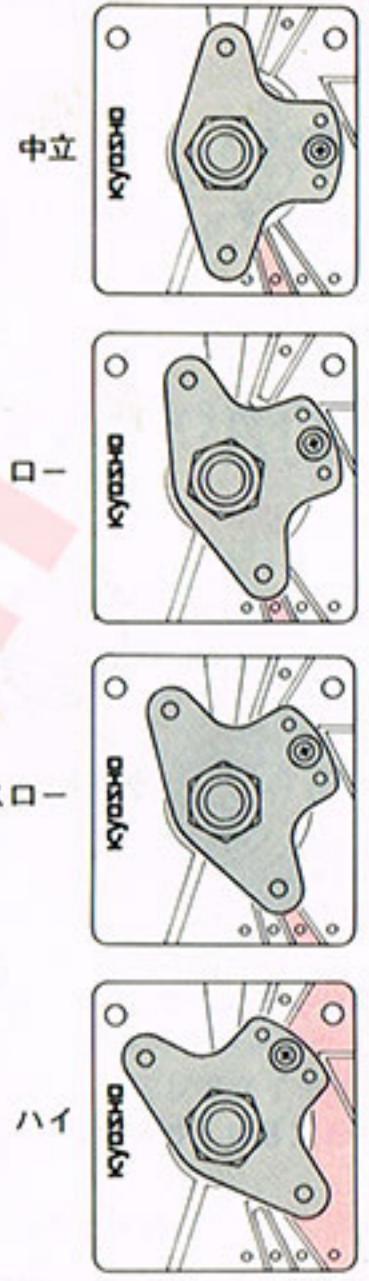
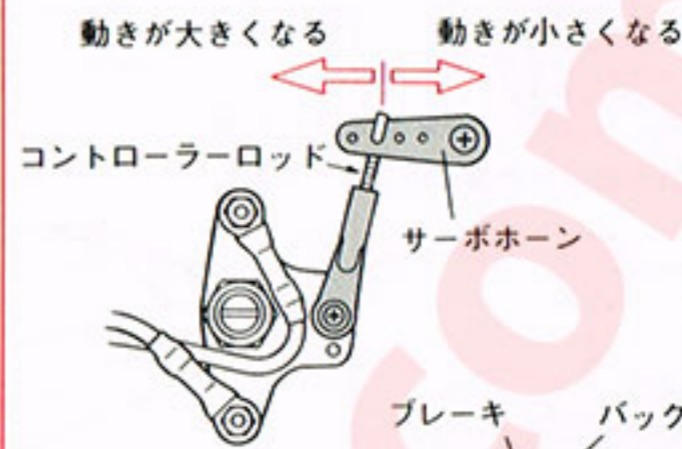
34 ボディのとりつけ

①～③の順にとりつける。



■コントローラーのかくにん

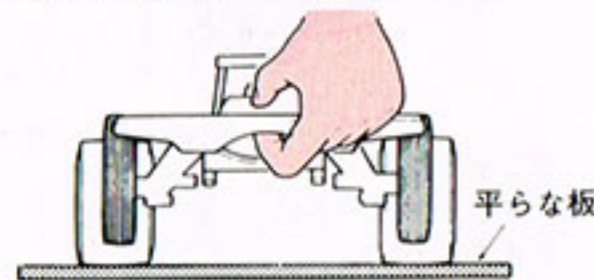
- 走行のまえにサーボの動きとコントローラーの動きが右図の位置に正しく合うかをかくにんして下さい。
- 合わないときはコントローラーロッドをサーボホーンの内側又は外側に入れなおして下さい。



走行前の調整

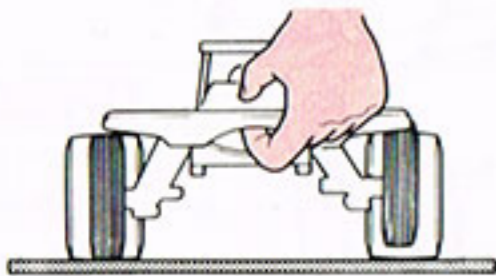
<タイヤの接地圧の調整>

- ① 左右のタイヤに同じ量の荷重がかかっていないと左右のかじきれが異なります。下図のようにフロントタイヤに同じ量の圧力がかかるよう調整して下さい。



フロントバンパーを指でもち上げる。

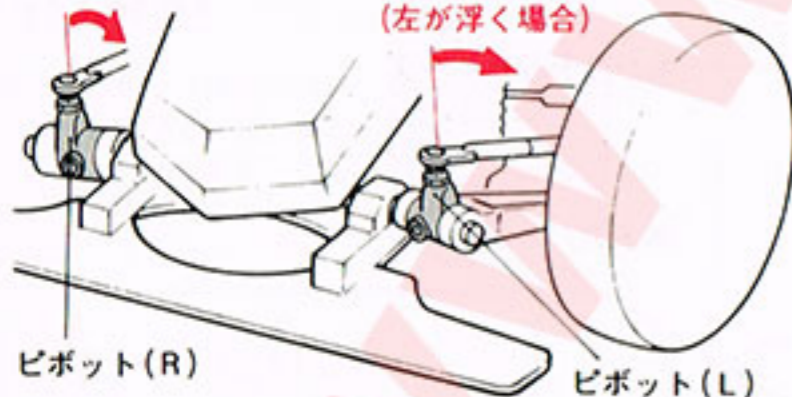
- ② もち上げたバンパーをしずかに下げていきフロントタイヤが同時に板に付くよう調整する。図のように右側のフロントタイヤが浮いている場合は調整する。



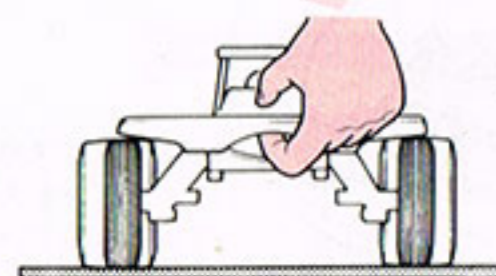
- ③ ②のように左側のフロントタイヤが浮いている場合は、下図のようにピボット(L)を後方に少しづつずらし調整して下さい。又、逆に左側が浮いている場合はピボット(R)を後方にずらし調整して下さい。

(右が浮く場合)

(左が浮く場合)

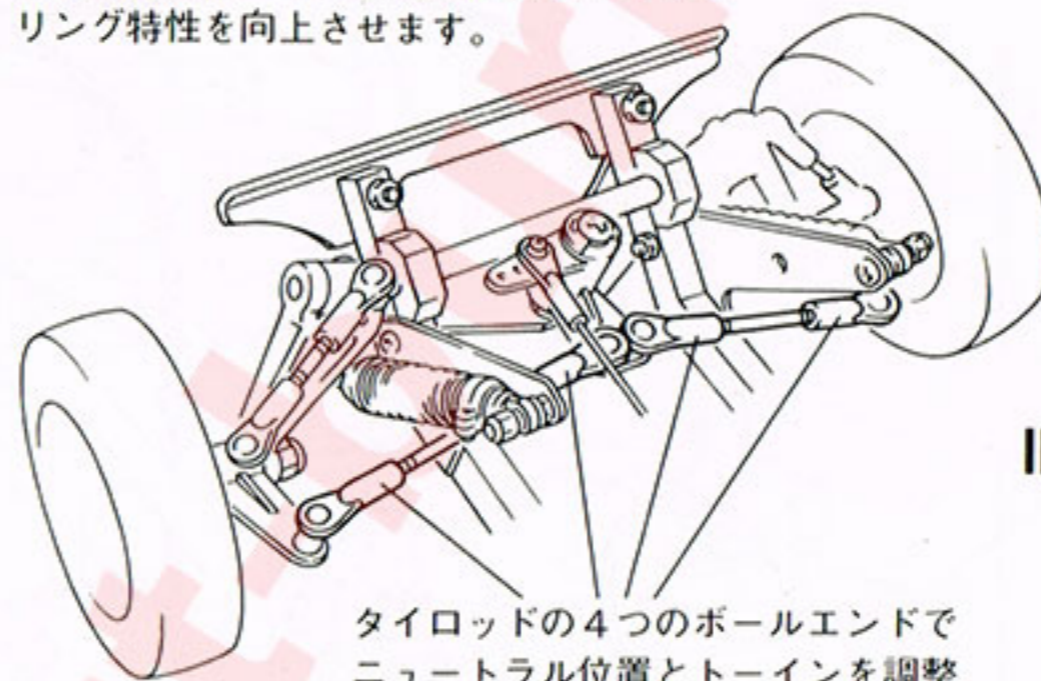


- ④ フロントタイヤが同じに平らな板に接地すればOK。

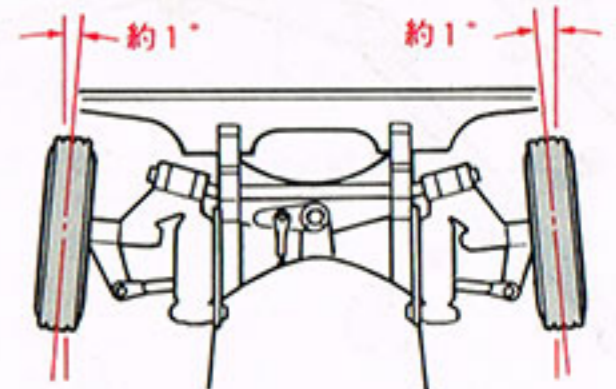


<ステアリングの調整>

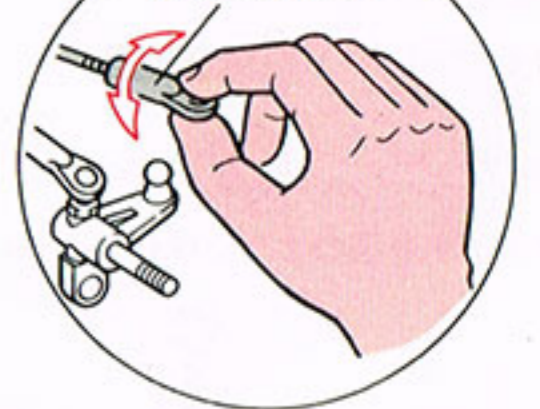
車の操縦に大変大事なところ。右図のようにほんのわずかフロントタイヤの前を内側に向けて下さい。この角度をトーインといい直進性、ステアリング特性を向上させます。



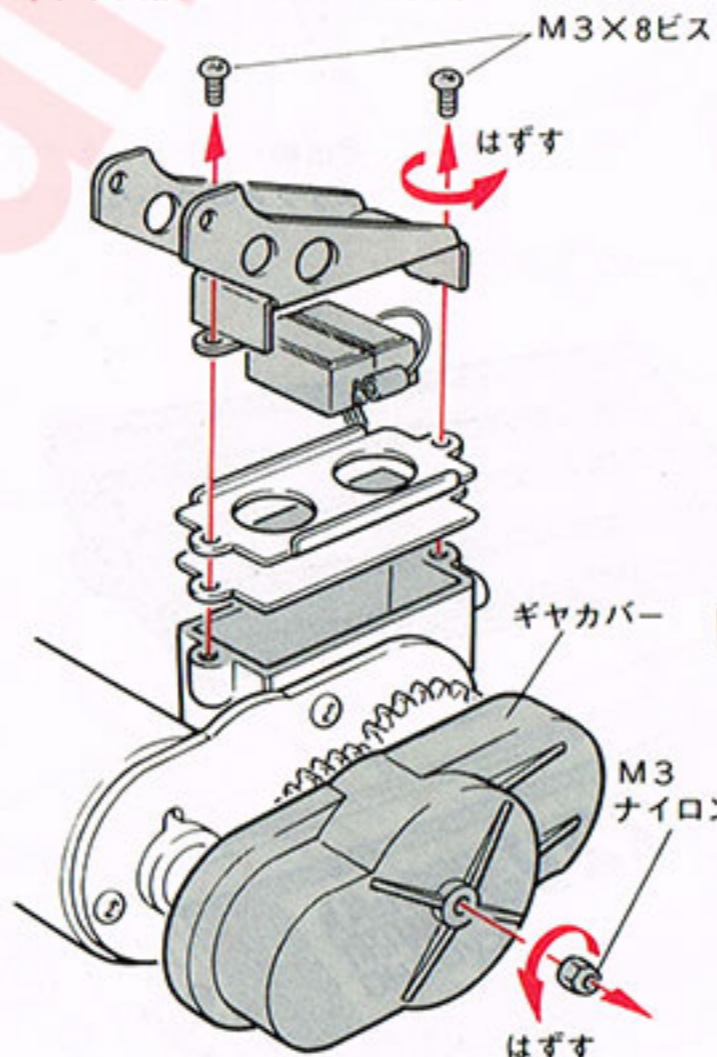
タイロッドの4つのボールエンドでニュートラル位置とトーインを調整して下さい。



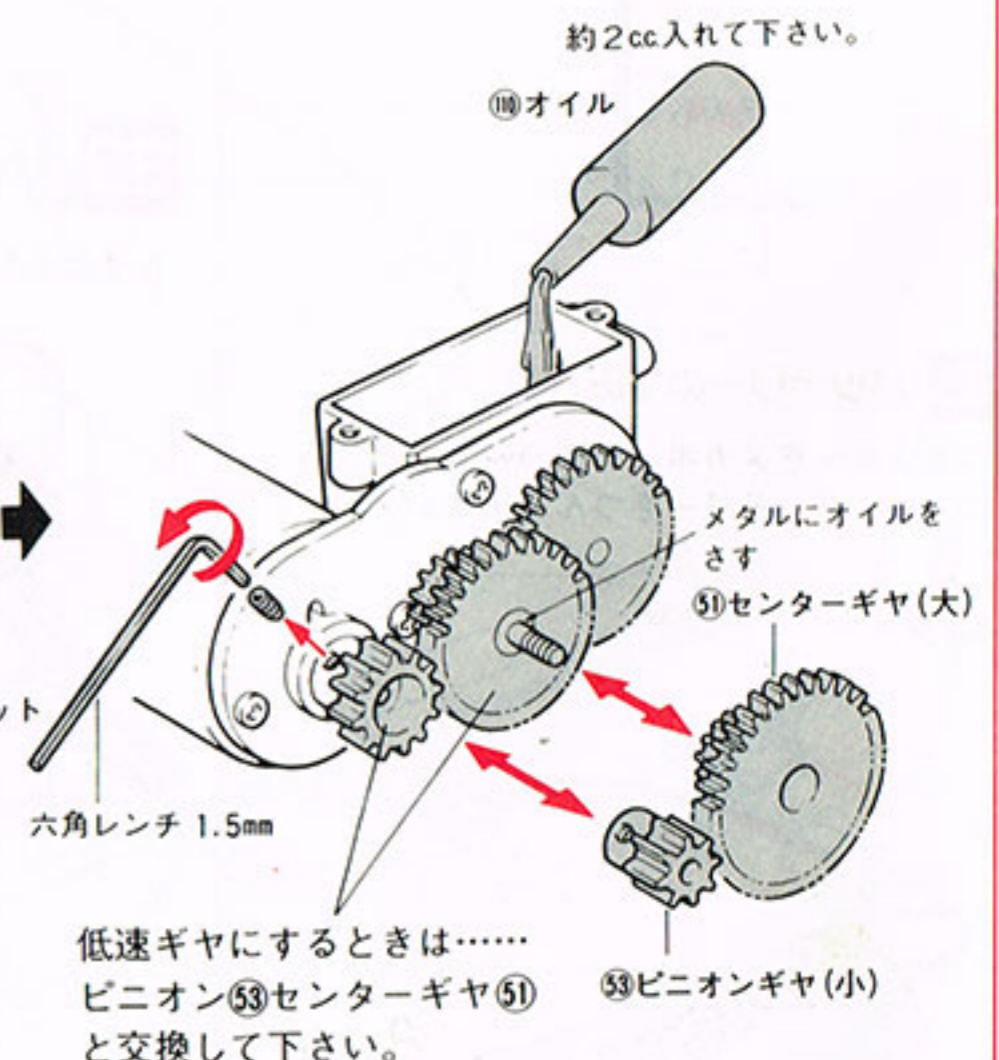
長さを調整してはめこみます。



<ギヤ交換とオイルの注油>



ギヤボックスは組み立て済みになっており、高速ギヤがセットしてあります。凸凹の多い場所、砂地などで走らせる場合は、別袋に入っている低速ギヤを組み込んで下さい。



低速ギヤにするときは……ピニオン③③センターギヤ⑤と交換して下さい。

走行前の調整

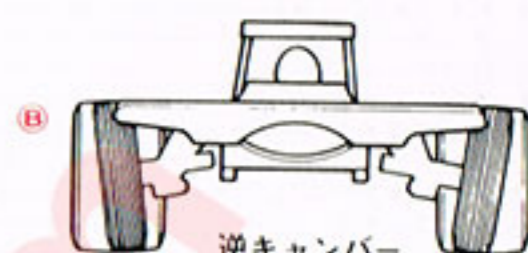
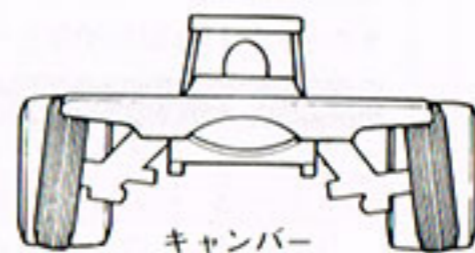
★取扱説明書どおりに組み立てていただければ十分性能を発揮しますが、より自分の好みに仕上げるためにフロント廻りの調整法を知っておくと便利です。

＜知っておくとよい調整法＞

その1

アーム軸を矢印(A)の方へ少し持ち上げるとキャンバーがつき、逆に矢印(B)の方へ下げると逆キャンバーがつきます。

(注)この場合、トーインが変化しますのでトーイン調整して下さい。



その2

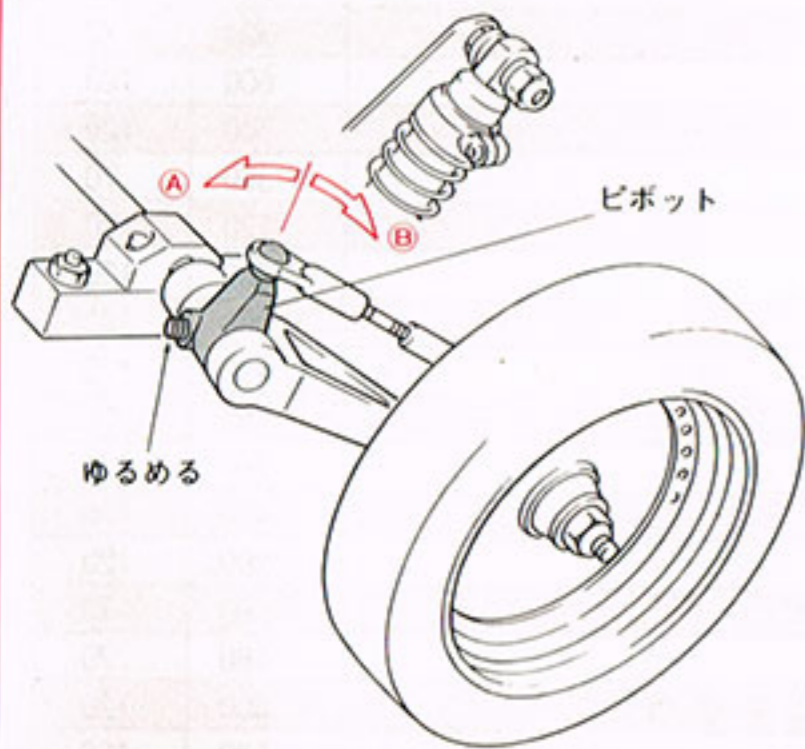
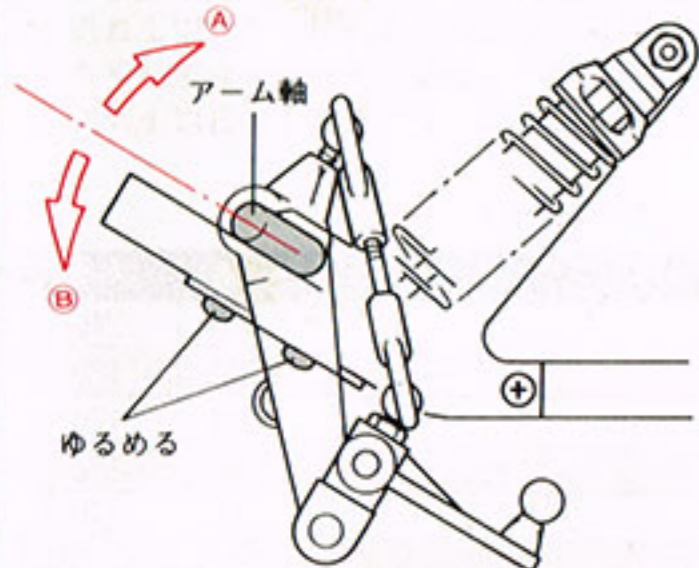
ピボットを矢印(A)前方にかたむけるとカスターが弱く(B)の方向にかたむけると強くなります。

＜スプリングの調整＞



〔注意〕
ビスをしめるとき、あまり強くしめるとプラスチックのネジがバカになります。軽くしめて下さい。

前後のスプリングは軟かめにセットした方がよりショックを吸収します。



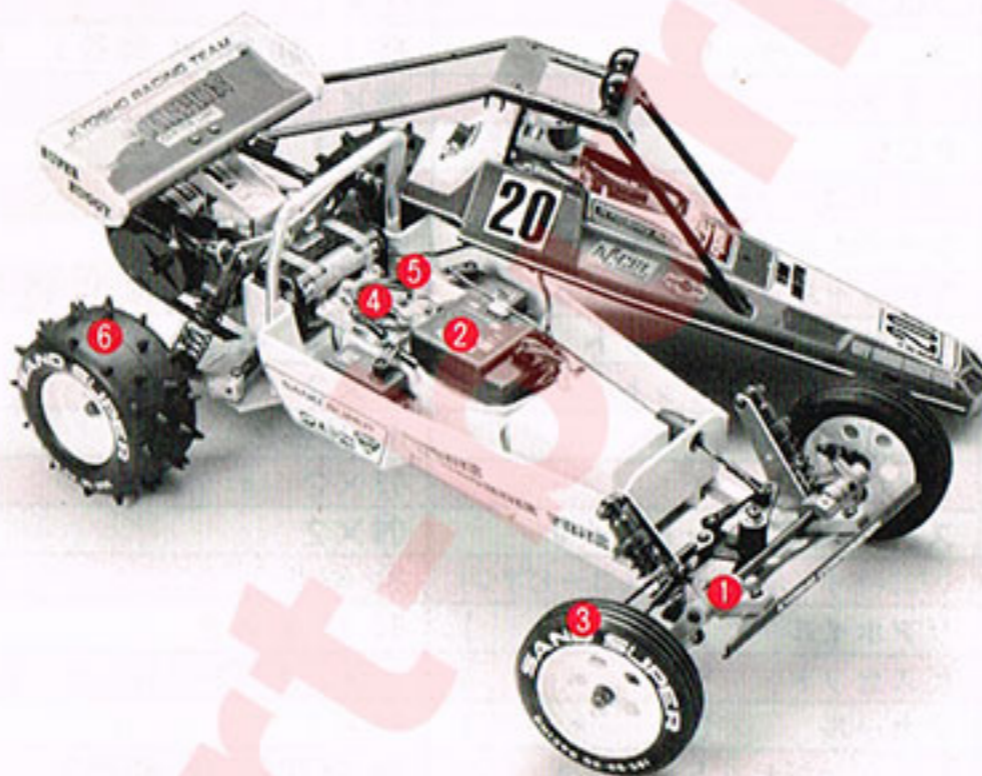
走行前のチェック

＜走行前の点検、チェック＞

走行の前に右の写真の番号順にチェックして下さい。

★初走行の時、ニカド電池1パック位の時間はゆっくりと走らせ、各部の動きを見て下さい。

- ①各ネジのゆるみがないかをチェック。
- ②プロポ、動力電池の容量をチェック。
- ③フロントタイヤがプロポ通りに動くかをチェック。
- ④前進、バックがプロポ通りに動くかをチェック。
- ⑤各配線コードがしっかりとされているかをチェック。
- ⑥タイヤを手で回しスムーズに回るかをチェック。



＜走行の際の順番＞

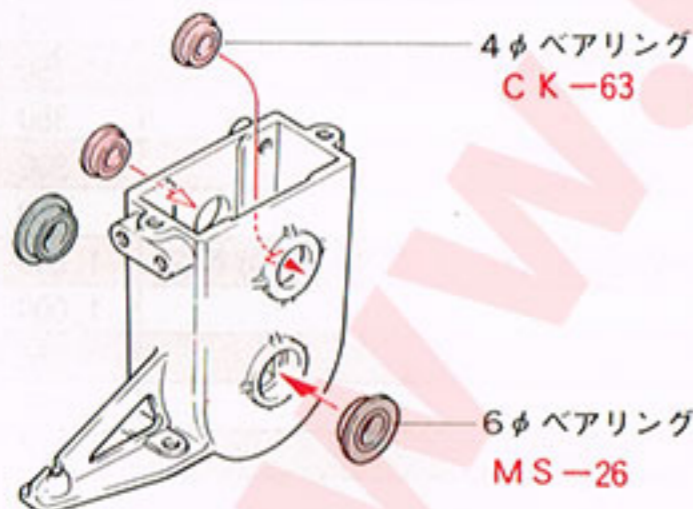
- ①プロポ、走行用電池を入れる。
 - ②送信機のスイッチを入れる。
 - ③受信機のスイッチを入れる。
 - ④プロポのスティックを右・左・前進・バック操作しその動きをチェックする。
- ★プロポのスイッチを切る時は、受信機を先に切り、後で送信機のスイッチを切る。
この手順をあやまるとモデルが勝手に走ったり、暴走することがあります。

＜動かない時のチェック＞

- ①走行用電源(ニカドバッテリー)のコネクター及び各配線コードの接触不良。
- ②コントローラーの接触不良。
- ③プロポの故障。
- ④他の電波の混信。

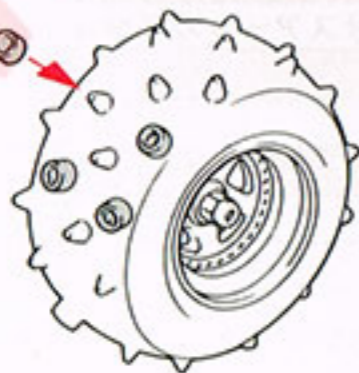
オプションパーツ

ギヤボックスにはメタルが使用してあります。より回転をスムーズにされる方はオプションのベアリングをご使用下さい。



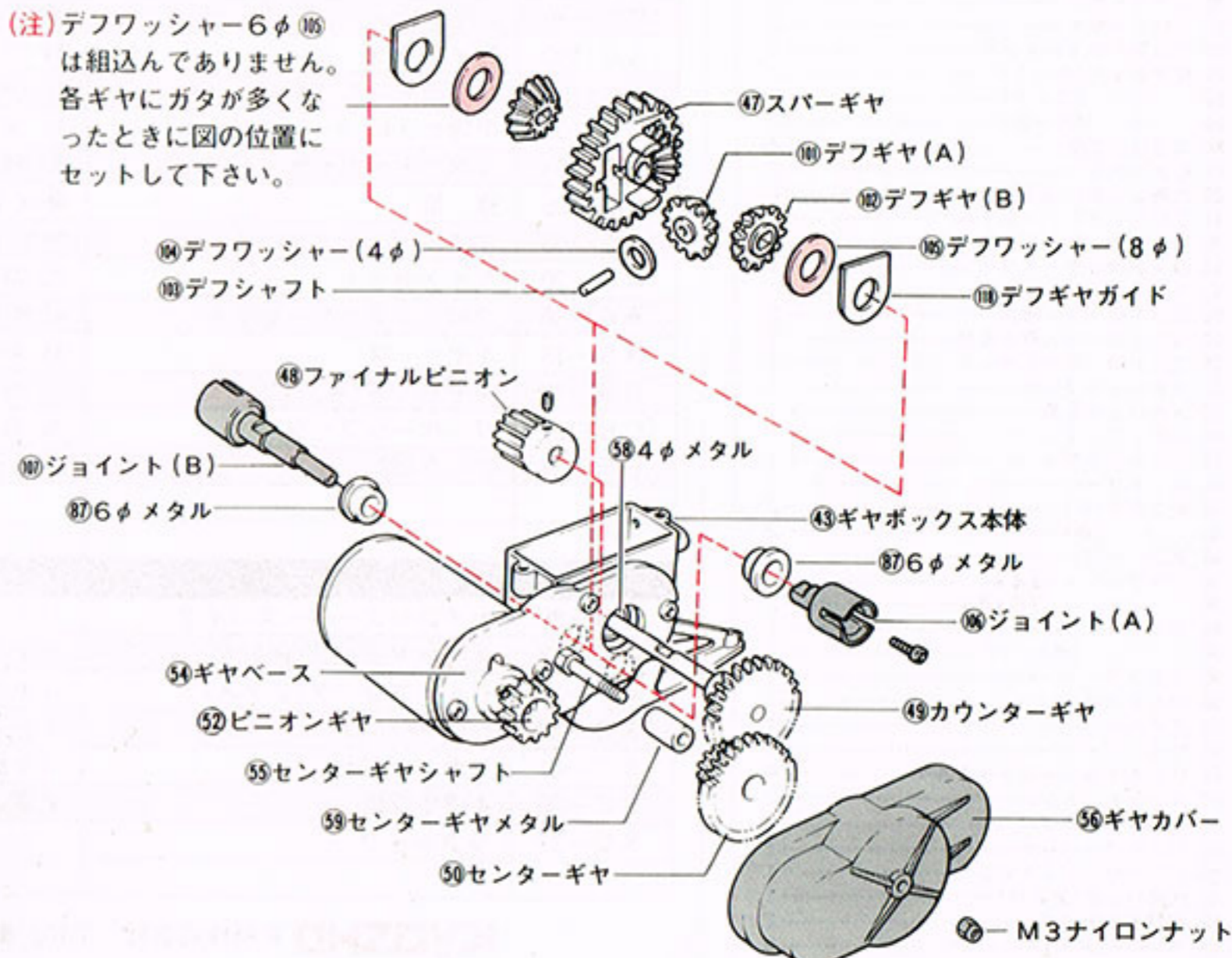
砂地などの走行のときは、よりグリップを上げるためにオプションでサーキット20用のナイロンスーパースパイク(CB-86 ¥1,000)をご使用下さい。

瞬間接着剤でとりつける



ギヤボックス分解図

(注)デフワッシャー6φ(86)は組込んでありません。各ギヤにガタが多くなったときに図の位置にセットして下さい。



パーツリスト

品番	部品名	個数
①	フロントバンパー	1
②	メインシャーシー	2
③	アーム軸	1
④	アーム軸ストッパー	2
⑤	ロアアーム(L, R)	1組
⑥	ピボット(L, R)	1組
⑦	アッパーシャフト	2
⑧	ピロボール	8
⑨	ボールエンド(小)	2
⑩	アップライト	2
⑪	フックピン	1
⑫	ナックルアーム(L, R)	1組
⑬	タイロッド	2
⑭	デカール	1
⑮	リアサスアーム	2
⑯	サーボセーバーマウント	1
⑰	サーボセーバー	1組
⑱	リアダンパーケース	2
⑲	ダンパーワッシャー	4
⑳	ダンパーオリング	4
㉑	ダンパーストッパー	4
㉒	ダンパーエンド	4
㉓	ダンパーブッシュ	4
㉔	ダンパーボール	4
㉕	ボールエンド(大)	8
㉖	フロントダンパーピストン	2
㉗	リアダンパーピストン	2
㉘	フロントダンパーステー	2
㉙	リアダンパーステー	1
㉚	ギャボックスマウント	1
㉛	リアサスプレート	1
㉜	リアサスシャフト	2
㉝	リアサスホルダー(A)	2
㉞	(B)	2
㉟	フロントスプリング	2
㊱	リアスプリング	2
㊲	フロントダンパーケース	2
㊳	スプリングストッパー	4
㊴	スイングシャフト	2
㊵	リアホイールシャフト	2
㊶	ダンパーレンチ	1
㊷	ドライブワッシャー	2
㊸	ギャボックス本体	1
㊹	ギャボックスフタ	1
㊺	ギャボックスシール	1
㊻	ドライバー	1
㊼	スパーギヤ	1
㊽	ファイナルピニオン	1
㊾	カウンターギヤ(シャフト付)	1
㊿	センターギヤ(高速用)	1
1	(低速用)	1
2	ピニオンギヤ(大)(高速用)	1
3	(小)(低速用)	1
4	ギヤベース	1
5	センターギヤシャフト	1
6	ギヤカバー	1
7	ドライバープレート	1
8	4φメタル	2
9	センターギヤメタル	1
10	モーターカバー	1
11	リアサイドガード	1
12	リアアンダーガード	2
13	メカボックス	1
14	ウイングステー	1
15	コントローラーホーン	1
16	抵抗	2
17	リンケージボール	2
18	コントローラーロッド	1
19	ステアリングロッド	1
20	スイッチプレート	1
21	スイッチブーツ	1
22	ライト(A)	4
23	ライト(B)	4
24	ドライブガード(R)	1
25	(L)	1
26	両面テープ	1
27	アンテナ	1
28	ロールバー	1
29	フロントタイヤ	2
30	リアタイヤ	2
31	フロントホイール	2
32	フロントホイールメタル	2
33	リアホイール(R-1)	2
34	(R-2)	2
35	(R-3)	2
36	スプリング受	4
37	6φメタル	2
38	六角レンチ(1.5ミリ)	1
39	フロントインナーホイール	2
40	コントローラーPC板	1
41	コントローラーコイル	1
42	コントローラーナット	1
43	コントローラー接点	2
44	コントローラー押え金具	1
45	コントローラーピボット	1
46	メカハッチフック	1
47	メカハッチ金具	1
48	ボディフック	1
49	ロッドリング	1
50	ロッドブーツ	1
51	デフギヤ(A)	2
52	(B)	2
53	デフシャフト	2
54	デフワッシャー(4φ)	2
55	(6φ8φ)	2
56	ジョイント(A)	1
57	(B)	1
58	コネクター	1
59	コードカバー	1
60	オイル	1
61	ウイング	1
62	リアホイールシャフトメタル	4
63	リアシャフトシム	2
64	ウイングホルダー	1
65	バッテリーハッチ	1
66	バッテリーハッチピン	1
67	六角レンチ(2ミリ)	1
68	デフギヤガイド	2
69	ダンパーシール	4

部品を紛失、破損された時

下記の品番、部品名、内容を確認し、キットをお買求めいただいた模型店で品番を言ってお求め下さい。近くに模型店がなく部品が入手できないときは「京商サービス部」へ部品代に送料を加え(合計¥1,000以内の場合は郵便普通為替、それ以上は現金書留)品番を明記の上、直接お申し込み下さい。*2品以上お求めの場合の送料は、品番の中で一番高い送料のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。又、お申し込みになられたパーツはご送金いただいてからお届けできるまで10日以上かかる場合もありますので御了承下さい。

●表示の送料は昭和60年5月20日現在のもので法規改正にともない変更になる場合がありますので御了承下さい。

品番	部品名	内容(キ-No.)	定価	送料
SC-2	メインシャーシー	②×2	1,000	240
SC-3	アーム軸セット	③×1 ④×2	300	120
SC-4	ロアアームセット	⑤ ⑥×1組	700	120
SC-7	ナックルアームセット	⑫×1組	500	120
SC-9	サーボセーバーマウント	⑮×1	180	70
SC-12	フロントダンパーステー	⑳×2	200	70
SC-13	リアダンパーステー	㉑×1	250	70
SC-14	ギャボックスマウント	⑳×1	300	70
SC-17	スイングシャフト	㉓×2	600	120
SC-18	リアホイールシャフト	④④×2	500	120
SC-19	リアホイールシャフトメタル	④④×4	350	70
SC-20	ドライブワッシャー	④②×2	120	70
SC-21	リアガードセット	⑥①×1 ⑥②×2	300	120
SC-84	スペシャルリアタイヤ	⑧①×2	1,200	240
SC-36	ギャベースカバー	⑤④ ⑤⑤ ⑤⑥各1	450	120
SC-37	ギャボックスメタルセット	⑤⑨×1 ⑤⑧ ⑧⑦各2	450	70
SC-40	モーターカバー	⑥①×1	350	120
SC-41	サーボセーバー	⑮×1	400	120
SC-42	リアサスアーム	⑮×2	800	120
SC-45	アンテナガイド	⑦⑦×1	50	70
SC-46	両面テープ	⑦⑥×1	180	70
SC-56	デファレンシャルギヤセット	④⑦ ④⑧ ④⑨各1 ④⑩ ④⑪ ④⑫ ④⑬ ④⑭ ④⑮各2	1,000	120
SC-59	デフ用ジョイントセット	④⑩ ④⑪各1	500	120
SC-60	デフギヤセット	④⑦×1 ④⑩ ④⑪ ④⑫ ④⑬ ④⑭各2	550	120
SC-63	フロントホイールメタル	⑧②×2	250	70
SC-64	フロントバンパー	①×1	300	70
SC-67	コントローラーセット	⑥⑤ ⑨① ⑨② ⑨③ ⑨④ ⑨⑤各1 ⑨③×2	1,250	120
SC-107	コネクター	④⑧×1	300	70
SC-78	PC板	⑨①×1	450	70
SC-79	コントローラー接点	⑨③×2	300	70
SC-83	ファイナルピニオンギヤ	④⑧×1	500	70
SC-85	スペシャルリアダンパーセット	④①×1 ①⑧ ①⑨ ②① ②② ②③ ②④ ②⑦ ③⑥ ③⑧ ③⑩各2	1,500	120
SC-86	リアサスプレートセット	③①×1 ③② ③③ ③④各2	500	70
SC-87	アッパーアームセット	⑦×2 ⑧ ②⑤各4	350	70
SC-88	アップライトセット	⑧ ⑩各2	550	70
SC-89	タイロッド	⑬×2 ⑧ ②⑤各4	450	70
SC-90	スペシャルフロントタイヤ	⑦⑨×2	850	120
SC-91	フロントホイール(ターボスコピオン)	⑧① ⑧⑨各2	450	120
SC-92	リアホイール ()	⑧③ ⑧④ ⑧⑤各2	550	120
SC-93	ビスセット ()	ビス、ナット、レンチ一式	750	120
SC-94	デカール ()	⑮×1	300	120
SC-95	リンケージセット()	⑥⑧ ⑨⑨各1 ⑨ ⑥⑦各2	300	70
SC-96	メカボックス ()	⑥③ ④⑨ ④⑮各1	700	240
SC-97	ドライバープレートセット()	⑤⑦ ⑦④ ⑦⑤各1	350	240
SC-98	ロールバー ()	⑦⑧×1	400	120
SC-99	ドライバー ()	④⑥×1	1,000	240
SC-100	ウイングセット()	⑥④ ④⑩ ④⑮各1	450	120
SC-101	リアシャフトシム	④⑩×10	80	70
SC-102	小物セット(ターボスコピオン)	④④ ④⑥ ④⑦ ④⑧ ④⑮各1	350	120
SC-103	スペシャルギヤセット(B)	⑤① ⑤② ⑤③各1	750	120
SC-105	抵抗	⑥⑥×1	350	120
SC-106	オイル	④⑩×1	200	120
AB-20	ライトセット	⑦② ⑦③各4	250	120
AB-30	フロントダンパーセット	④①×1 ①⑨ ②① ②② ②③ ②④ ②⑥ ③⑤ ③⑦ ③⑧ ③⑩各2	1,500	120
RS-13	ギヤケース	④③ ④⑤各1	1,000	120
RS-16	ギヤセット(A)	④⑧ ④⑨各1	250	120
CB-124	リンケージブーツ	⑦① ⑦② ⑨⑨ ④⑩各1	350	120
EP-22	フックピン	①①×5	100	70
オ プ シ ョ ン バ ー ツ				
CB-86	ナイロンスーパースパイク	リアタイヤのグリップを上げる	1,000	120
CK-63	4φベアリング(2ヶ入)	ギャボックスの4φメタルと交換	1,800	70
MS-26	6φベアリング(2ヶ入)	ギャボックス及びリアサスアームのメタルと交換	2,000	70
SC-58	ヒートシンク	モーター冷却用	1,500	120
SC-61	セカンドギヤ	ギヤ比(8.4:1)	650	120
SC-80	4速用抵抗	前進4段変速用	650	120
SC-27	リアタイヤ		1,200	240